

令和 3 年 度

(2 0 2 1 年度)

事 務 概 要 書

吹 田 市 保 健 所

目 次

第1	沿革	1
第2	市の概要	4
第3	主たる事務所の付近見取り図	6
第4	敷地及び庁舎・施設平面図	7
第5	組織表	8
第6	現員表	9
第7	事務分掌	11
第8	主要事業の概要	12
第9	活動の指標	28

【保健医療室 事務概要】

1	医事関係事務	29
2	薬事関係事務	31
3	医療相談	32
4	医療機関の立入検査及び実地指導等	32
5	薬事関係立入検査	33
6	薬事関連啓発事業	34
7	その他薬事関連業務	34
8	保健所運営協議会	35
9	大阪府医療計画推進にかかる会議	35
10	吹田市医療審議会	39
11	吹田市地域医療推進懇談会	39
12	吹田市地域医療推進市民講演会	40
13	豊能二次医療圏救急医療対策事業	41
14	豊能広域こども急病センター事業	41
15	地域のネットワーク会議等	41
16	健康危機管理に対する取組	42
17	統計事務	45
18	保健所業務の総合調整	45
19	施設設備の管理及び整備	45
20	保健衛生関係の表彰	46
21	厚生労働統計関係の表彰	46
22	研修及び実習指導関係	46

【衛生管理課 事務概要】

1	食品衛生	47
2	環境衛生	56
3	狂犬病予防・動物愛護管理	61

【地域保健課 事務概要】

1	結核予防	63
2	感染症予防	67
3	性感染症予防	68
4	生活習慣病予防	69
5	母子保健	69
6	精神保健	70
7	難病対策	74
8	放射線業務	76

【健康まちづくり室 事務概要】

栄養改善指導	78
--------	----

※健康まちづくり室は、保健所組織ではありませんが、健康まちづくり室が実施している吹田市健康増進法施行細則にかかる業務のうち、保健所長の権限に属する業務のみを記載しています。

保健センターの事務概要につきましては、別冊「保健センターの事業概要」に掲載しています。

第1 沿革

※西暦併記を一部省略

【吹田市保健所】 令和2年（2020年）4月1日～

- 令和2. 4. 1 吹田市の中核市移行に伴い、保健所が大阪府から吹田市に移管され、吹田市保健所を開設した。
- 保健所組織は、保健医療室、衛生管理課、地域保健課と隣接する保健センターで構成。
- 保健所の施設内に、健康まちづくり室を配置。
- 令和3. 2. 15 健康まちづくり室の事務室を、総合福祉会館5階に移転。
- 令和4. 4. 1 組織改正により、保健所組織が、保健医療総務室（名称変更）、衛生管理課、地域保健課の3室課構成となる。

《参考》

【大阪府吹田保健所】 昭和19年（1944年）10月～令和2年（2020年）3月31日

- 昭和19.10.1 結核予防を主目的として設置されていた吹田健康相談所を廃止し、あらたに吹田東・西保健所が設置され、吹田市を二分して担当することになり結核予防、母子衛生、衛生教育などを主とする保健指導機関として発足した。
当所は、このうちの西保健所の発展したものである。
- 21.10.8 吹田東保健所が廃止されたので、同所の管轄区域も西保健所が吸収し全市を担当することになった。
- 23.12.1 従来、隣接茨木保健所の管轄下にあった三島郡味舌村、山田村、味生村及び新田村の4ヶ所が移管され、担当地区に加えられた。
「保健所長に権限を委任する規則」（大阪府規則第74号）が施行され保健衛生業務に関する知事の権限の一部が委譲された。
- 24.4.1 廨の指定をうけた。
- 24.9.1 大阪府吹田保健所と改称された。
- 26.7.1 庁舎が完成したので吹田市東旭町1329番地に移転し、人員の増強とともに業務内容も整備拡充され、名実兼備の保健所となった。
管轄地区のうち味舌村が町制をしいたため、1市1町3村となった。
- 28.7.1 管轄地区のうち新田村が分村し、大字上新田は豊中市に、大字下新田は吹田市に吸収合併されたため、1市1町2村となった。
- 30.10.15 管轄地区のうち山田村が吹田市に吸収合併されたため、1市1町1村となった。
- 31.10.1 管轄地区のうち味舌町、味生村と従来茨木保健所管内の鳥飼村とが吸収合併して三島町が発足し当所の管内に属したため、1市1町となった。
- 32.7.1 茨木市の一部（旧三宅村の一部）が三島町に編入された。
- 35.11.17 山田保健婦駐在所を設置した。
- 35.12.19 三島保健婦駐在所を設置した。
- 36.10.30 鉄筋コンクリート造り新館の増築と旧本館の改築並びに補修工事が完成した。
- 37.9.15 吹田市千里丘陵の開発造成による当該住宅地区への入居が開始された。
(C地区一佐竹台)
- 37.11.1 佐竹台保健婦駐在所を設置した。
- 38.5.1 吹田市の町名地番の一部変更により当所の所在地が吹田市東旭町1329番地から吹田市高浜町10番12号に変わった。
- 39.10.13 保健所開設20周年記念式典を挙行了した。
- 40.5.25 古江台保健婦駐在所を設置した。
- 41.3.25 本館の増改築工事が竣工した。
- 41.4.1 当所の規格はU2型と格付けされた。
- 41.11.1 管轄地区のうち三島町が摂津市として発足したため、当所の管内は2市となった。
- 47.4.1 摂津（三島）保健婦駐在所を廃止し、摂津市総合福祉会館内に吹田保健所摂津支所が発足した。
- 47.7.6 摂津支所改造工事が完成した。

47.	9.30	山田保健婦駐在所を廃止した。
51.	4. 1	当所の規格が U1 型に変更された。
52.	3.31	摂津支所栄養室等の改修工事が完成した。
53.	9.28	第30回保健文化賞を受賞した。
54.	9.10	千里保健医療会館内に吹田保健所千里支所が発足した。
55.	2. 1	古江台保健婦駐在所を廃止した。
55.	4. 1	大阪府財務規則の改正により、大阪府庁の指定が解かれ、大阪府指定出先機関に指定される。
56.	9.13	国民健康づくり計画モデル事業の実施地域に吹田保健所管内の吹田市及び摂津市（吹摂地区）が決定される。
57.	3.31	本所所長室の改修工事が完成した。
57.12.27		本所庁舎内外塗装工事が完成した。
58.	3. 3	本所障害者対策施設工事が完成した。
60.	2.16	保健所開設40周年記念式典を挙行了した。
63.	4. 1	保健福祉推進室が設置され、3課1室の体制となる。
63.11.17		本所の新築移転（吹田市出口町19番3号）工事が完了し、竣工式典を挙行了した。
63.12. 1		本所新庁舎にて業務開始した。
平成6.	11. 9	保健所開設50周年記念式典を挙行了した。
11.	3.31	本所福祉整備工事が完成した。
12.	4. 1	保健所組織の再編により吹田保健所は「吹田府民健康プラザ」、吹田保健所千里支所は「千里府民健康プラザ」、吹田保健所摂津支所は茨木保健所の管轄になり「摂津府民健康プラザ」となる。 これで当保健所の管轄区域は吹田市1市となる。また、「総務課」と「保健福祉推進室」を統合して、「企画調整課」を設置し、「保健予防課」を「地域保健課」に改称した。
13.	3.21	千里支所福祉整備工事が完成した。
16.	3.31	保健所組織の再編により、吹田保健所千里支所及び千里府民健康プラザの名称は廃止された。
16.	4. 1	大阪府財務規則の改正により、指定出先機関の指定を解かれ予算執行機関となる。
令和2.	3.17	吹田市の中核市移行に向けた犬舎、処置室（猫舎）の改修工事が完成した。
	2. 3.28	吹田市の中核市移行に向けた庁舎内部改修工事が完成した。

第2 市の概要

吹田市は、北は箕面市、茨木市に、東は摂津市に、南は大阪市に、西は豊中市に接しており、その面積は 36.09 k m²、府面積の約 2 % を占めている。管内人口は 378,781 人、世帯数は 179,397 世帯（令和 4 年（2022 年）3 月 31 日現在）である。

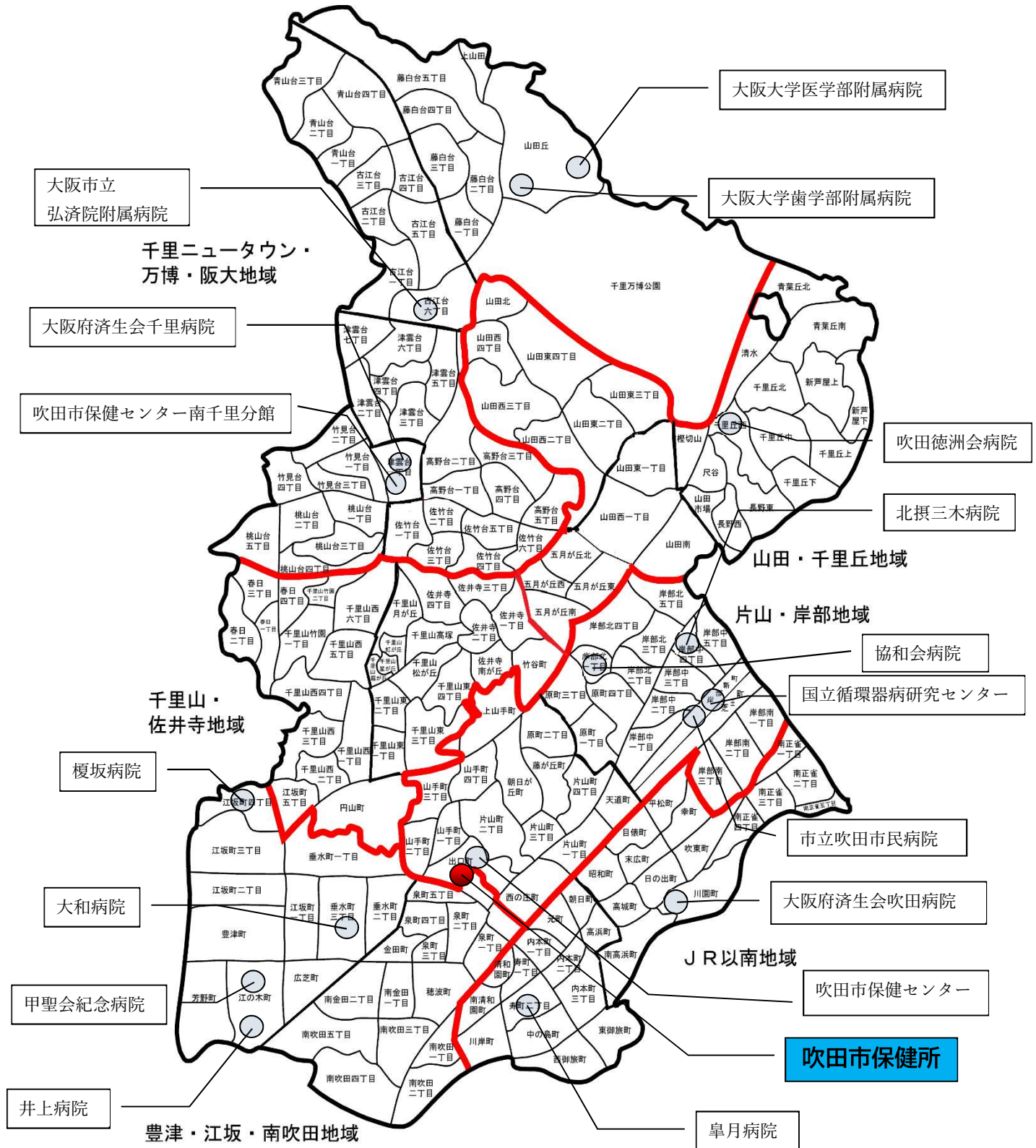
市の地理的環境は、古くから鉄道に沿って発達した中小事業所が多い南部地域、大阪市内に通勤するサラリーマンのベッドタウンとして整備された日本初の大規模団地である千里ニュータウンのある北西部地域、大阪の副都心として開発の続く地下鉄江坂駅を中心とした西部地域、田園都市から住宅産業都市へと変貌し、さらに企業進出が目ざましい東部地域から構成されている。

平成 26 年（2014 年）5 月、「健康・医療のまちづくり」基本方針を定め、JR 岸辺駅前の吹田操車場跡地に移転した国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院を中心に、循環器病についての予防医療や健康づくりの推進、市民参加型の循環器病予防の取組のモデル創成など、世界をリードする健康医療都市を目指している。

また、近年、千里ニュータウン、JR 以南地域をはじめとする市内の各地域で急速に進んでいる高齢化問題に対応していくため、健康づくりや健康寿命延伸の取組に力を入れている。

さらに、令和元年（2019 年）8 月 7 日、保健衛生、環境等の幅広い分野の事務権限を持ち、市民の命と豊かな暮らしを支えるための取組を一層推進するため、総務大臣に中核市指定（政令）の申出を行い、同年 11 月 13 日、地方自治法第 252 条の 22 の規定に基づき中核市の指定に関する政令が公布された。これにより令和 2 年（2020 年）4 月 1 日より、中核市となり吹田市保健所を開設した。

管内略図



第3 主たる事務所の付近見取り図

所在地:吹田市出口町 19 番 3 号

電話番号:保健医療総務室 06(6339)2225

衛生管理課 06(6339)2226

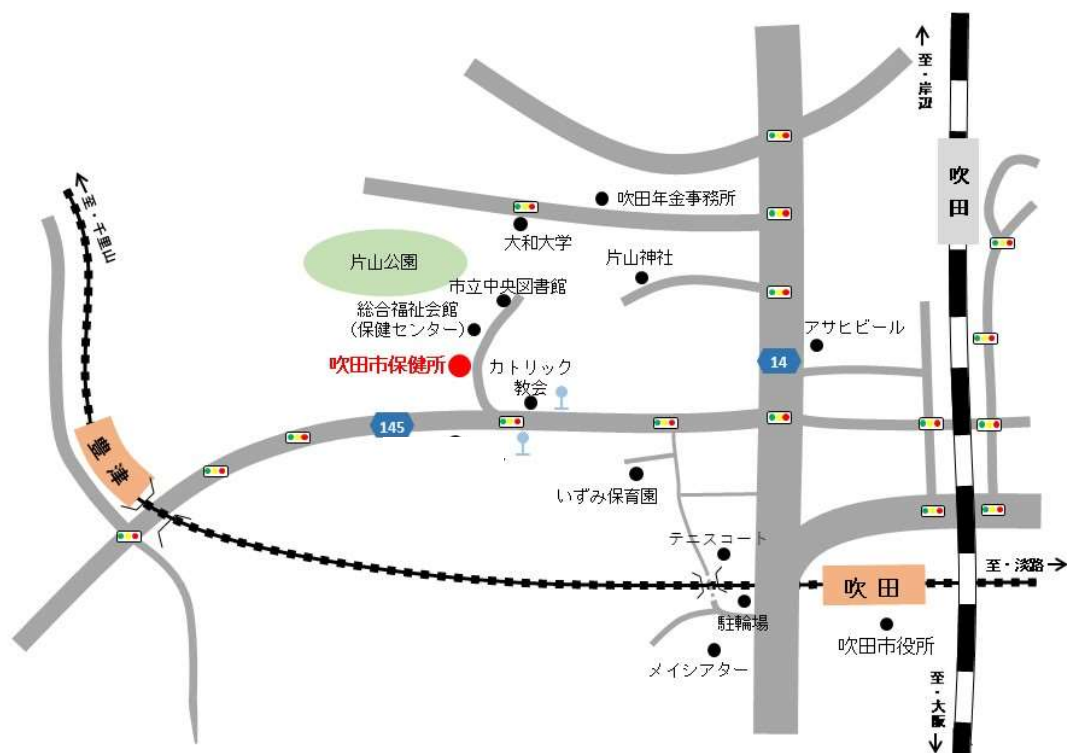
地域保健課 06(6339)2227

ファックス:全室課共通 06(6339)2058

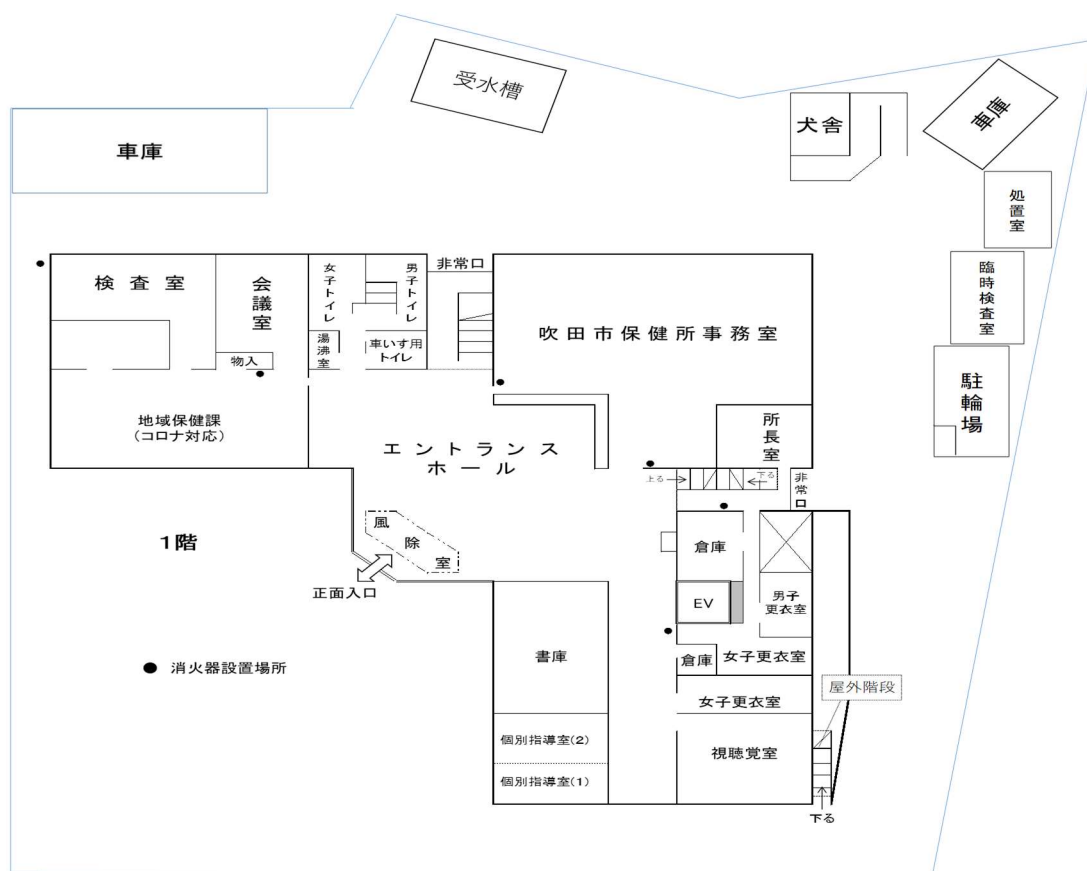
阪急電鉄千里線 吹田駅から徒歩約 8 分

阪急電鉄千里線 豊津駅から徒歩約 8 分

JR 京都線 吹田駅から徒歩約 15 分



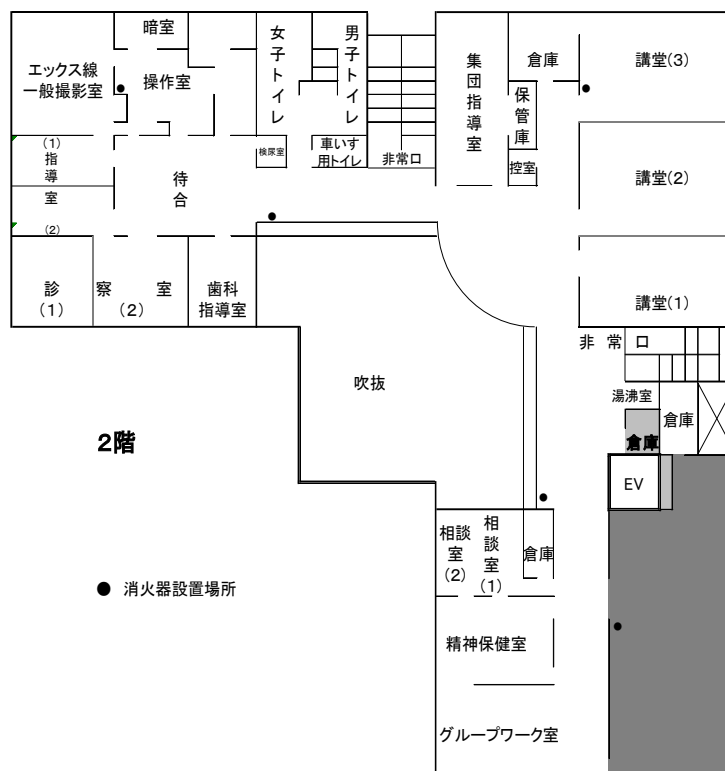
第4 敷地及び庁舎・施設平面図



建築面積 960.76 m³

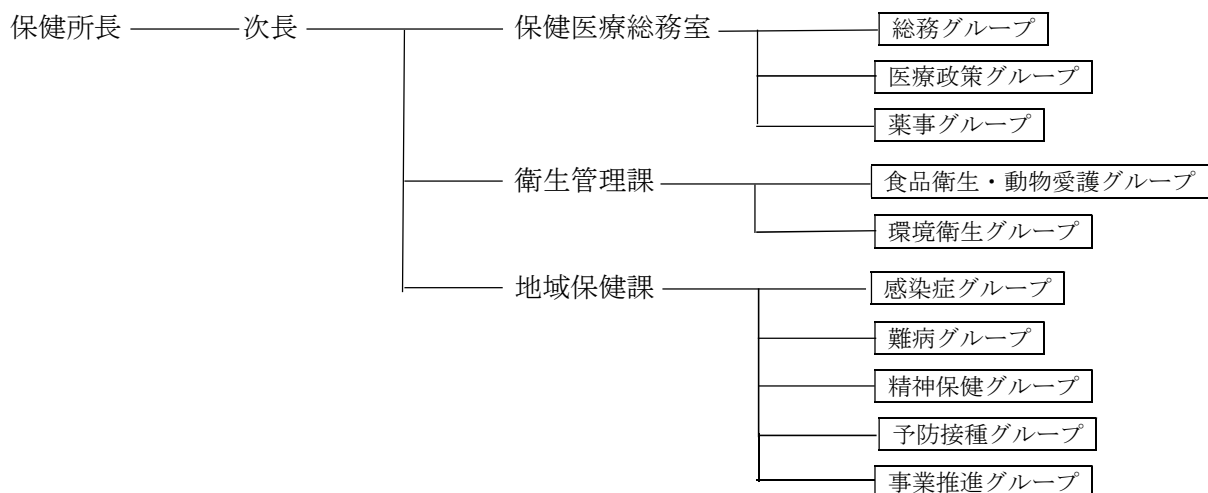
延面積 1,847.89 m³

敷地面積 3,000.01 m³



第 5 組織表

令和 4 年（2022 年）4 月 1 日現在



令和 4 年（2022 年）4 月の組織改正により、保健所は、保健医療総務室（保健医療室から名称変更）、衛生管理課、地域保健課の 3 室課構成となった。

母子保健や健康増進など、広く市民を対象とする保健業務を保健所から他部署へ移管し、保健所の業務を医療への監視・指導をはじめとする専門的な業務に特化させることで、保健所の持つ専門性をより発揮できる組織にすることがねらいである。

改正の主な内容は以下のとおり。

- ① 組織としての保健センターを廃止し、成人保健課、母子保健課を新たに設置。
- ② 成人保健や母子保健、健康増進に関する事業を、保健所から他部署へ移管。
- ③ 保健センターが所掌していた予防接種（新型コロナワクチンを含む）に関する事業を、地域保健課へ移管。
- ④ 地域保健課が所掌していた不妊・不育症に関する支援事業を、母子保健課へ移管。

第 6 現員表

令和 4 年（2022年） 4 月 1 日現在
（ ）内は大阪府職員数：内数

【職種別内訳】

室課名等	職別	職種	人数
保健所全体	常勤職員	事務	3 2 名 （ 0 名）
		医師	2 名 （ 1 名）
		保健師	2 6 名 （ 0 名）
		看護師	1 名 （ 0 名）
		精神保健福祉士	3 名 （ 1 名）
		診療放射線技師	1 名 （ 0 名）
		獣医師	6 名 （ 1 名）
		化学職	1 名 （ 0 名）
		薬剤師	1 2 名 （ 5 名）
		自動車運転手	1 名 （ 0 名）
		小計	8 5 名 （ 8 名）
	会計年度職員	事務補助	1 6 名
		保健師	1 名
		看護師	4 名
		獣医師	1 名
		小計	2 2 名
	計		1 0 7 名 （ 8 名）

保健所長	常勤職員	医師	1 名 （ 1 名）
------	------	----	------------

保健医療総務室	常勤職員	事務	9 名 （ 0 名）
		保健師	5 名 （ 0 名）
		薬剤師	5 名 （ 2 名）
		小計	1 9 名 （ 2 名）
	会計年度職員	事務補助	1 名
		看護師	1 名
		小計	2 名
	計		2 1 名 （ 2 名）

衛生管理課	常勤職員	事務	4 名 （ 0 名）
		獣医師	6 名 （ 1 名）
		薬剤師	7 名 （ 3 名）
		化学職	1 名 （ 0 名）
		小計	1 8 名 （ 4 名）
	会計年度職員	事務補助	3 名
		獣医師	1 名
		薬剤師	0 名
		小計	4 名
	計		2 2 名 （ 4 名）

地域保健課	常勤職員	事務	1 9 名	(0 名)
		医師	1 名	(0 名)
		保健師	2 1 名	(0 名)
		看護師	1 名	(0 名)
		精神保健福祉士	3 名	(1 名)
		診療放射線技師	1 名	(0 名)
		自動車運転手	1 名	(0 名)
		小計	4 7 名	(1 名)
	会計年度職員	事務補助	1 2 名	
		保健師	1 名	
		看護師	3 名	
		小計	1 6 名	
	計		6 3 名	(1 名)

【役職別内訳】

室課名等	職別	役職	人数	
保健所全体	常勤職員	部長級	1 名	(1 名)
		次長級	3 名	(0 名)
		課長級	8 名	(3 名)
		課長代理級	1 5 名	(3 名)
		主査	1 5 名	(1 名)
		主任・係員	4 3 名	(0 名)
		計	8 5 名	(8 名)
保健所長	常勤職員	部長級	1 名	(1 名)
保健医療総務室	常勤職員	次長級	1 名	(0 名)
		課長級	3 名	(1 名)
		課長代理級	4 名	(1 名)
		主査	2 名	(0 名)
		主任・係員	9 名	(0 名)
		小計	1 9 名	(2 名)
衛生管理課	常勤職員	課長級	2 名	(2 名)
		課長代理級	5 名	(2 名)
		主査	4 名	(0 名)
		主任・係員	7 名	(0 名)
		小計	1 8 名	(4 名)
地域保健課	常勤職員	次長級	2 名	(0 名)
		課長級	3 名	(0 名)
		課長代理級	6 名	(0 名)
		主査	9 名	(1 名)
		主任・係員	2 7 名	(0 名)
		小計	4 7 名	(1 名)

第7 事務分掌

1 保健医療総務室

- (1) 医事及び薬事に関する事項
- (2) 保健衛生に係る調査及び統計に関する事項
- (3) 保健医療団体との連絡に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (4) 地域医療に係る施策の企画、調整及び推進に関する事項
- (5) 健康危機管理に関する事項
- (6) 保健師の保健活動の総合調整及び推進に関する事項
- (7) 保健所運営協議会に関する事項
- (8) 医療審議会に関する事項
- (9) 保健所庁舎の管理に関する事項
- (10) 保健所内の総合調整及び庶務に関する事項

2 衛生管理課

- (1) 食品衛生に関する事項
- (2) 環境衛生に関する事項
- (3) 狂犬病の予防に関する事項
- (4) 動物の愛護及び管理に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (5) 衛生上の試験及び検査に関する事項
- (6) 専用水道及び簡易専用水道に関する事項
- (7) 飲用井戸等に係る指導に関する事項

3 地域保健課

- (1) 感染症の対策及び予防に関する事項
- (2) 予防接種に関する事項
- (3) 精神保健に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (4) 自殺対策に関する事項
- (5) 難病の支援に関する事項
- (6) 難病及び肝炎治療の医療費助成に関する事項
- (7) 感染症診査協議会に関する事項
- (8) 予防接種健康被害調査委員会に関する事項

第8 主要事業の概要

令和2年度(2020年度)から中核市に移行し、これまで府保健所で行われてきた広域的・専門的・技術的拠点としての機能と、住民に身近な保健サービスの提供を一体的かつ効果的に展開し、総合的な保健サービスの提供を行うために、市保健所を設置した。

地域の公衆衛生の拠点施設として、きめ細かな地域保健業務や健康づくり施策の推進、また医療の推進や公衆衛生の向上、さらに健康危機管理への迅速な対応等、地域の保健衛生の更なる推進のための業務に取り組んでいる。

1 保健所における新型コロナウイルス感染症対応業務

新型コロナウイルス感染症に関する保健所の対応については、職員の増員や予算措置等の全庁的な支援を受け、保健所3室課で一丸となり、役割分担を行いながら対応している。

さらに、委託可能な業務については、積極的に業務委託を行うなどし、保健所機能強化を図った。

(1) 新型コロナウイルス感染症対応件数

	令和3年度(2021年度)
相談件数	28,909 件
PCR 実施件数	150,682 件
陽性者数	27,112 件

(2) 新型コロナウイルス感染症における入院勧告、就業制限等の状況

	令和3年度(2021年度)
入院勧告書	1,316 件
就業制限通知書	5,674 件
療養証明書	4,834 件

1月 31 日から療養期間中に就業しないことの協力が得られる場合は、就業制限通知書を発行しないこととした。

2月 9 日から希望者に療養証明書を発行開始。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関する施設対応件数

①現地調査の件数

施設種別	令和3年度(2021年度)
高齢者施設	47 件
障がい者施設	7 件
医療機関	16 件
児童施設	1 件
その他	2 件
合計	73 件

②電話調査の件数

対応件数	1,334 件
(うち、他市からの依頼件数)	542 件

(4) 市内クラスター発生状況

施設種別	令和3年度(2021 年度)
高齢者施設	21 件
障がい者施設	4 件
医療機関	12 件
児童施設	13 件
教育関係施設	1 件
その他	29 件
合計	80 件

(5) 集中的 PCR 検査の実施状況

ア 大学対象 PCR 集中検査(モニタリング検査含む);令和3年(2021 年)4月実施分

	合計
実施施設数	5 件
実施件数	2,312 件
陽性疑い者数	1 件

イ 高齢者及び障がい者施設等の従事者に対する集中的 PCR 検査;令和3年(2021 年)5 月～6 月実施分

	合計	うち、高齢者施設	うち、障がい者施設
実施施設数	287 件	161 件	126 件
陽性結果の施設数	1 件	1 件	0 件
実施件数(延べ)	4,476 件	2,981 件	1,495 件
陽性件数(延べ)	1 件	1 件	0 件

(6) 吹田市新型コロナウイルス感染症検体回収センターにおける検査状況;令和3年(2021 年)4月～令和4年(2022 年)3月実施分

(件)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	244	170	128	111	249	153	67	21	21	424	336	149	2,073

(7) 吹田市地域外来・検査センターにおける検査状況;令和3年(2021 年)4月～令和4年(2022 年)3月実施分

(件)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	80	66	34	59	81	46	23	22	18	117	109	56	711

(8) 新型コロナウイルス感染症業務 令和3年度(2021年度)対応経過

新型コロナウイルス感染症業務 令和3年度(2021年度)対応経過

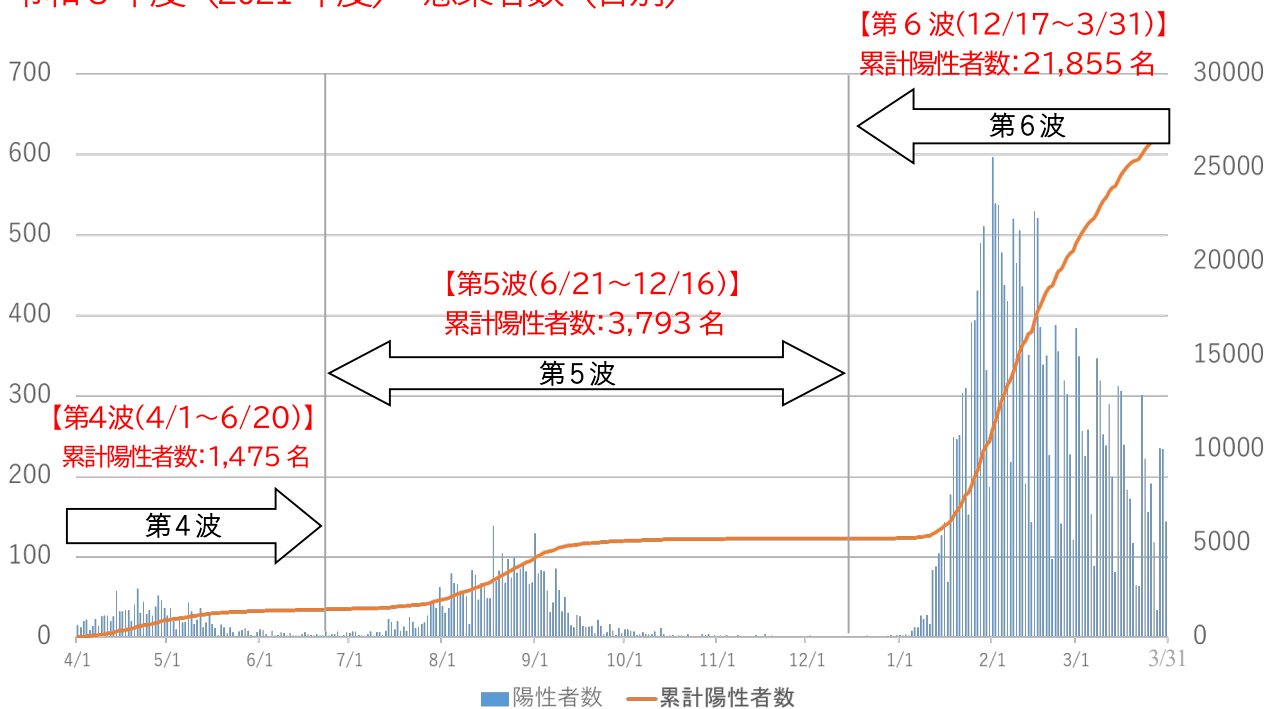
月	日	主な出来事	主な内容
4月	16日	新型コロナウイルス感染症に関する調整会議	管内15病院、三師会、吹田市消防本部と、更なる病床確保（妊婦・透析・精神含む）、アフターコロナの受入等の医療提供体制確保について情報共有、意見交換等を実施。
	第1回まん延防止等重点措置（4/5～4/24）		
	第3回緊急事態宣言(4/25～6/20)		
	30日	電話・オンライン診療協力医療機関・配送協力薬局の情報提供開始	自宅療養者に電話・オンライン診療協力医療機関・配送協力薬局のリストを配布。
5月	16日	高齢者及び障がい者施設等の従事者に対する集中的PCR検査	高齢者及び障がい者入所施設等の感染拡大防止を目的に、施設等の従事者に対し集中的なPCR検査を実施。
	18日	自宅療養者等への医療提供実施協力金交付事業の開始（～R4.3.31）	自宅療養者等のうち、酸素投与や投薬等の医療提供が必要な方に対する往診や電話・オンライン診療、また訪問看護の体制確保のため、協力金の交付を実施。
		自宅療養者等への訪問看護師による健康観察事業の開始（～R4.3.31）	自宅療養者等のうち、保健所が対面による健康観察が必要と判断した方に対して、状態悪化の早期把握と診療や入院等への早期対応を目的に訪問看護師による健康観察を実施。
6月	18日	吹田市福祉部職員への感染対策研修の開催	高齢者施設との関わりが深い福祉部職員に対し、新型コロナウイルスを含む感染対策についての知識を高め、施設等へ適切に指導助言等を行い、施設等の感染対策が向上することを目的に実施。
	第2回まん延防止等重点措置（6/21～8/1）		
	中旬	高齢・障がいサービス事業者に対する啓発媒体の作成	啓発媒体を作成し、福祉部ホームページに掲載。
	23日	管内院内感染対策連絡会議①	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生病院及び支援チームからの報告、感染対策及び院内体制の強化等について情報共有や意見交換を実施。
7月	27日	病院対象机上訓練の実施	院内感染発生シミュレーションを行い、院内体制等のあり方についての机上訓練を実施。
8月	1日	保健所業務全所体制	陽性者急増に伴い、新型コロナウイルス感染症業務が全所体制となる。

第4回緊急事態宣言（8/2～9/30）			
	31日	入院待機ステーション開設（～R3.12.31）	自宅療養者等において、状態が悪化し、入院が必要と判断された方で、入院先が決まるまで、酸素投与をしながら待機する必要があると保健所が判断した場合、医療機関と連携のもと酸素投与等を行うことができる一時待機場所を開設。
		自宅療養者等への酸素濃縮器配備体制対応開始（～R4.3.31）	酸素投与を要する自宅療養者等に対する酸素濃縮器が急激な需要増等により医療機関での確保が困難な場合に、市が確保する酸素濃縮器を医療機関に提供。
9月			
10月	14日	保健所における自宅療養者の夜間の入院調整開始	保健所における自宅療養者の夜間の入院調整を開始。
	14日	福祉施設等からの感染対策に関する質問窓口の設置（～R3.10.31）	福祉部が窓口となり、福祉施設等からの質問を受け、保健所及びICN等で回答を作成。回答はホームページに掲載。
11月	16日	就業制限解除通知書申請について電子申込システムの活用を開始	保健所への電話がつながりにくいこともあり、電子申込システムを利用することで、電話以外の方法で申請を行うことができるようにした。
	27日	PCR検査キット郵送業務実施	保健所で検体採取する濃厚接触者が急増したため、自宅で検体採取できるように、濃厚接触者へのPCR検査検査キットの郵送を実施
12月	1日	医師会等向け研修会「第6波に向けた医療体制強化研修」	自宅療養者の増加が見込まれる状況を踏まえ、地域における医療体制を強化し、重症化の抑制を図ることを目的とした研修を開催。
	15日	電子申込システムを活用した事前ヒアリングシート入力開始	疫学調査時の陽性者の負担軽減のため、事前に陽性者が疫学調査時項目を入力できる電子申込みシステムを活用。
	24日	NATS4市コロナ対応振返り	中止
	24日	高齢者施設への感染対策研修	各施設の状況に合わせた感染対策が学べるよう基礎編と応用編で分けて構成し、また、施設での対応に活かすことができるよう施設間の情報共有の場を設定した研修を開催。
1月	1日	入院待機ステーション設置延長（～R4.3.31）	オミクロン株の急速拡大に伴う緊急対応として、設置期間を延長。
	1日	自宅療養者等への訪問看護師による健康観察事業に安否確認業務追加	自宅療養者等を対象とした訪問看護師による健康観察事業に、電話のつながらない陽性者に対する安否確認を追加。

	21 日	集団調査を高齢者施設等に重点化	陽性者増加に伴う保健所業務逼迫により、集団調査の対象を高齢者施設・障害者施設への重点化を行う。
	25 日	濃厚接触者への検査取りやめ	濃厚接触者増加にともない、保健所で濃厚接触者への検査を実施せず。
	第 3 回緊急事態宣言（1/27～3/21）		
	29 日	疫学調査重点化（50 歳以上優先） SMS の活用開始	陽性者増加に伴い、疫学調査は対象年齢を 0-1 歳、50 歳以上及び重症化リスクのある陽性者を優先的に実施。 陽性者全員に必要な情報提供として、SMS を活用。
2 月	3 日	管内院内感染対策連絡会議②	新型コロナウイルス感染症の現状と今後の見通しについて、第 6 波における病院の状況や対応について情報共有や意見交換を実施。
	9 日	就業制限通知書送付中止 療養証明書の発行開始	陽性者増加に伴い、就業制限通知書の送付を中止。就業制限解除通知書の代わりとして、療養証明書の発行を開始。
3 月	7 日	疫学調査重点化（0-1 歳、65 歳以上）	陽性者増加に伴い、疫学調査対象年齢を 50 歳以上から 65 歳の人に引き上げ、また重症化リスクのある陽性者を対象とする。
	29 日	高齢者施設等への感染対策研修	第 7 波に向けて今後の各施設での初期治療体制の構築と感染対策の向上を目的に研修を開催。

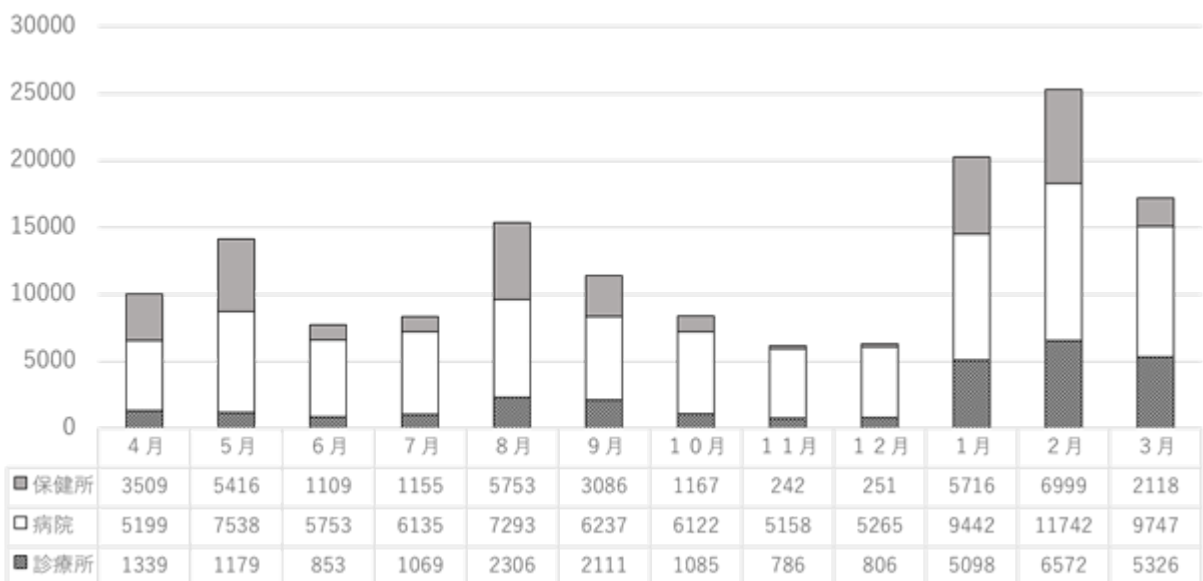
令和3年度（2021年度）感染者数（日別）

累計陽性者数 27,112 件
最大陽性者数 2/1（火）597 件



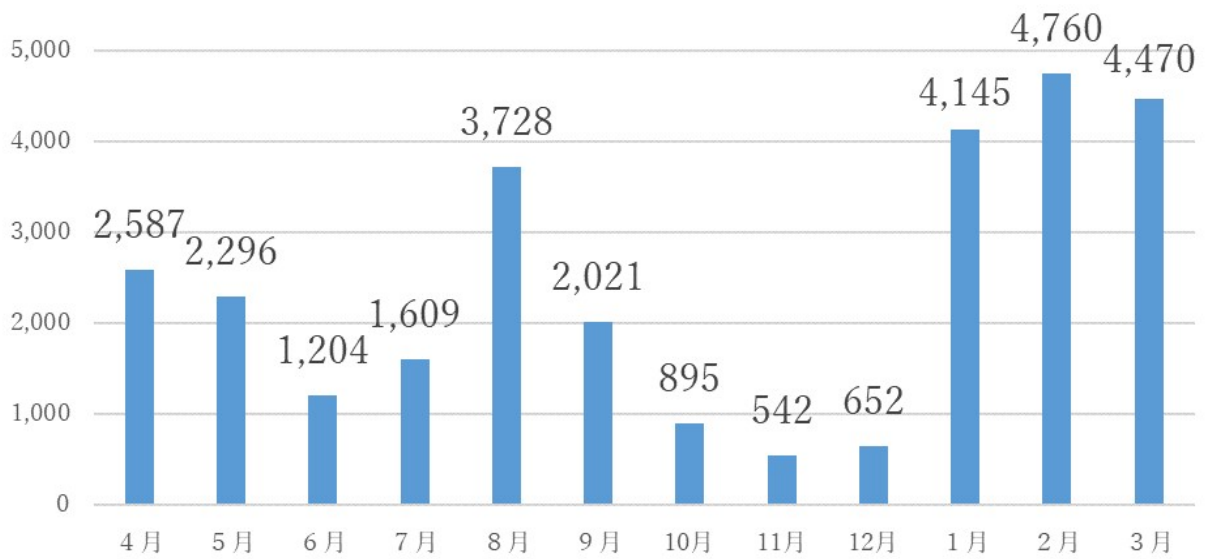
令和3年度（2021年度）検査件数（月別）

総実施件数 150,682 件



令和3年度(2021年度) 相談件数*(月別)

総相談件数 28,909 件



※ 保健所及び新型コロナ受診相談センターにおける
新型コロナウイルス感染症に関連する相談件数の総和

2 地域医療構想の推進

令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、病院連絡会は開催中止となったが、令和3年度(2021年度)は豊能圏域での病院連絡会を開催し、2025年に向けた今後の具体的な対応方針等について共有を図った。豊能医療・病床懇話会、豊能保健医療協議会では、豊能二次医療圏における地域医療構想の進捗状況と各病院の今後の方向性について協議され、各病院の病院プラン等について病院間で情報共有した。また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制についての意見交換が行われた。

<地域医療構想の実現化に向けた検討と取り組み>

令和元年度 (2019年度)	豊能保健医療協議会開催 豊能医療・病床懇話会開催 病院連絡会開催
令和2年度 (2020年度)	豊能保健医療協議会開催 豊能医療・病床懇話会開催 病院連絡会開催中止(新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ)
令和3年度 (2021年度)	豊能保健医療協議会開催 豊能医療・病床懇話会開催 豊能圏域病院連絡会開催 豊能薬事懇話会開催 豊能精神医療懇話会開催

3 医療安全

(1) 医事

医療法やその他法令に基づき、市内の病院や診療所、施術所、助産所、歯科技工所に対する各種申請の受付や許可を行っている。

市内の医療機関に対しては、医療の安全や構造設備等に係る定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。

また、医療の安全と信頼を高め、市内の医療機関の患者サービスや質の向上を図るため、市民からの医療機関に対する相談や苦情に対応する医療相談窓口を開設している。

(2) 薬事

薬局、店舗販売業者、高度管理医療機器等販売業者及び毒物劇物販売業者等に係る許可・登録の申請及び届出等の審査を行うとともに、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等関係法令の遵守の確認のため、立入検査を実施している。

また、市民や学校への啓発活動として、ポスター、リーフレットやクリアファイル等を活用し、薬物乱用防止や薬と健康に関する啓発を実施している。

衛生検査所に係る登録申請、変更届等の審査を行うとともに、臨床検査技師等に関する法律の遵守の確認のため立入検査を実施している。

4 健康危機管理・総合調整

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の第4波到来による医療ひっ迫を踏まえ、更なる病床確保(妊婦、透析、精神含む)やアフターコロナの受入等の医療提供体制について、令和3年(2021年)4月、管内15病院や吹田市医師会等の医療関係機関、消防本部を対象とした新型コロナウイルス感染症に関する調整会議を開催した。

さらに、管内15病院の感染制御医師及び感染管理看護師等により構成する「吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議」については、当該感染症の感染拡大状況の共有と院内感染対策の徹底のため、6月と令和4年(2022年)2月の2回開催した。

高齢者施設等への支援については、管内の感染管理認定看護師の協力を得て、当該感染症の感染対策に関する研修会を2回実施するとともに、福祉部と連携して、高齢者施設等と関わりの深い福祉部職員を対象とした感染対策研修を実施した。

また、当該感染症の発生や集団感染の可能性がある場合など、管内の医療機関や高齢者施設等からの要請に応じて、感染制御専門スタッフで構成する支援チームを派遣し、現場での助言支援を行った。

病院との合同訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、各病院の院内感染対策に関する研修会等の場を利用した机上訓練として実施。内容については、市内15病院対象にシナリオに基づいて、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生した場合の初動時のシミュレーションを行った。

自宅療養者等への支援の充実に向けて、酸素投与や投薬等の医療提供が必要な方に対する往診や電話・オンライン診療の体制の確保のため、医療提供(往診等)実施協力金交付事業を開始し、併せて、状態悪化の早期把握と診療や入院等への早期対応を目的に訪問看護師による健康観察事業の準備を進めた。また、医療のひっ迫により、入院が必要とされた患者の入院先が決定までに時間を要する場合に備え、酸素投与をしながら一時待機する場所として、入院待機ステーションを開設するとともに、医療機関での酸素濃縮器の確保が困難な状況に備え、本市で酸素濃縮器を確保し、必要時提供できるよう体制を整えた。

(2) 災害対策について

吹田市一斉合同訓練に併せて、部内独自でブラインド型の防災訓練を行い、作成した保健所災害マニュアルとアクションカード・レファレンスシートの精査を行い、初動の動き・部内体制を確認し、情報の共有方法や関係機関との連携について検討を行った。

豊能二次医療圏では、災害対応強化を目的として平成28年(2016年)から災害拠点病院が豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修を実施しており、令和2、3年度(2020年度、2021年度)はコロナ禍における複合災害についての机上シミュレーションをオンライン研修で参加した。

<健康危機管理体制構築への取り組み>

令和元年度 (2019年度)	・市立豊中病院と新型インフルエンザ等合同訓練の実施 ・北摂三木病院との麻しん対応訓練の支援 ・「病院における業務継続計画(BCP)策定セミナー」開催 ・吹田保健所版アクションカードとレファレンスシート作成及び検証訓練実施 ・EMIS入力・MCA無線操作訓練の実施 ・豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修及び実働訓練を実施 ・「吹田保健所健康危機管理関係機関連絡会議」「管内帰国者・接触者外来設置医療機関等意見交換会」において新型コロナウイルス感染症における医療提供体制の構築に向けた意見交換の実施
令和2年度 (2020年度)	・新型コロナウイルス感染症に関する調整会議を開催(4回) ・吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催(2回) ・高齢者施設リーダー育成研修を実施(2回) ・吹田市保健所災害マニュアルを作成 ・吹田市保健所版アクションカードとレファレンスシートを作成 ・豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修に参加 ・保健所圏域を超えた福祉施設等への新型コロナ感染対策に関する意見交換会にて北摂地域での支援チーム派遣について承認 ・福祉施設等への新型コロナ感染防止対策研修を実施
令和3年度 (2021年度)	・新型コロナウイルス感染症に関する調整会議を開催 ・吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催(2回) ・高齢者施設への新型コロナウイルス感染症対策研修を実施(2回) ・吹田市保健所災害マニュアルの見直し、精査 ・吹田市保健所版アクションカードとレファレンスシートの見直し

	・豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修に参加 ・福祉部職員への感染対策研修を実施 ・部内防災訓練
--	--

5 感染症対策

感染の急拡大に的確に対応できるよう令和3年(2021年)4月から、新型コロナウイルス感染症を専任で対応する保健師、事務職が増員され、体制の強化を図った。

(1) 新型コロナウイルス感染症専任業務

令和2年度(2020年度)と同様に、市民からの受診相談、陽性者に対する疫学調査・療養先の調整・移送、濃厚接触者の検査、施設で陽性者が判明したときの施設対応等多岐にわたる業務に携わった。

令和2年度(2020年度)末からの第4波は、アルファ株に置き換わりつつ感染が急速に拡大し、医療提供体制が極めてひっ迫した。当初、アルファ株についてはこれまでの株とは異なる隔離基準が求められたため、患者数が急増する状況では入院や宿泊療養の利用に大きな混乱をもたらした。また、ワクチンがまだ接種できていなかった高齢者施設等ではクラスターが発生。コロナ病床が満床となったため、血中酸素飽和度の低下があっても入院先が決まらず、救急隊に同行し深夜に緊急で在宅用の酸素ボンベを貸し出したこともあった。このように専任保健師が深夜まで業務にあたっても、夜間緊急電話には血中酸素飽和度の低下や高熱持続等の相談が入り、一晩に4件対応することもあったことから、4月中旬から5月上旬まで2名体制で夜勤を実施した。また、個別の陽性者対応に加えて、施設対応の増加や入院調整業務に時間を要したことから、専任職員だけでは対応できず、保健所全室課に加え、庁内や人材派遣・製薬会社からの事務職・保健師の応援も受けて対応にあたった。5月から自宅療養者等への医療提供実施協力金事業により、病状が不安定な自宅療養者へ医療の提供が進むことになった。

令和3年(2021年)7月からの第5波では、アルファ株からデルタ株に置き換わる中での感染拡大となった。第4波の教訓から、入院待機ステーションの設置、自宅療養者等への酸素濃縮器の配備体制対応を開始した。点滴による中和抗体薬が承認されたことやワクチン接種の普及により、重症化する患者の割合や高齢者の割合が減少した。しかし、感染者数は爆発的に増加したため、再度、全庁からの応援を受けたが、専任職員は日付が変わってから帰宅することが多くあるほど保健所業務はひっ迫を極めた。このため、夜間緊急電話は部内保健師も含めた輪番制とし、高齢者施設・障がい者施設担当部署との情報共有も行った。

11月末から感染が認められだしたオミクロン株の対応では、**帰国した陽性者の機内での濃厚接触者に対し、隔離施設の利用を求めることとされ、吹田市保健所が大阪府内機内濃厚接触者の第一例目の対応を行っている。また、検疫所による水際対策が毎日のように変更され、入国者(濃厚接触者)の移送・療養先の調整・健康観察等に膨大な時間を割くこととなった。**

令和4年(2022年)1月上旬から第6波に突入。ワクチン接種者が多くなっていたこと、オミクロン株の病原性や、経口薬の治療薬が承認され診療所でも投与可能になったことなどから、重症化する患者の割合は低下した。しかし、当初はオミクロン株についてデルタ株とは異なる対応が求められたことや、一日の感染者数が第5波最大感染者数の約6倍の状況となり、学校、児童・高齢者・障がい者施設、医療機関においてもクラスターが多数発生したことから、陽性者対応・事務業務共に極めてひっ迫し、リスクの高い陽性者に重点的に対応する方針に変更となった。従来の施設調査の方針では迅速に対応できなくなったため、高齢者・障がい者施設以外の施設からの相談を担当部署で対応するよう依頼するとともに、濃厚接触者の対応を有症状時のみに変更し(有症状時受診)、一般事業所自らが濃厚接触者の特定をするよう説明するなど、疫学調査、施設調査また、健康観察の重点化を図った。また、感染者数の増加にやや遅れて療養証明書発行の業務が膨大になり、保健所の事務業務に大きな負荷をかけることになった。

(2) 結核、性感染症等の感染症業務

結核、HIV等感染症対策全般について、患者の早期発見、早期治療及び感染拡大防止に向けた取組を行った。また、感染拡大期には、新型コロナウイルス感染症対応を優先的に取り組んだ。

結核の新規登録患者数は、年間32人で、うち、喀痰塗抹陽性患者は17人で、新規登録患者に占める割合は44.7%であった。

<結核患者の状況>

	新規登録患者数 (活動性)	うち)登録時喀痰塗抹陽性	うち) 70歳以上
令和元年度(2019年度)	47人	15人	27人
令和2年度(2020年度)	42人	17人	31人
令和3年度(2021年度)	32人	17人	20人

結核対策は、発見された患者を確実に治すことが重要なため、潜在性結核感染症患者を含む全患者に対して、患者本人が確実に服薬し治癒に至るよう、本人及び家族も含めた服薬支援(DOTS)に取り組んだ。また、結核に関する啓発事業としては、9月の結核予防週間に合わせ、管内医療機関や地域包括支援センター等へのポスター掲示や開業医を対象にした「結核対策医療機関講習会」を医師会と共催で開催する等、早期発見、早期治療に向けた情報発信に努めた。

性感染症対策としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、HIV検査を中止することとなり、実施回数は減少したが、府政令中核市合同のエイズ予防週間実行委員会に参加し、エイズに対する正しい知識の普及啓発に取り組んだ。また、令和3年度(2021年度)は、前年度、発生が少なかった感染性胃腸炎を疑う下痢、嘔吐症状の集団発生が急増したため、各施設に直接出向き、行政検査の実施や感染対策の指導に取り組んだ。アルコール製剤による消毒では、十分に予防できないノロウイルス等への対応について管内保育施設等に注意喚起を行った。

<施設調査対応実績>

	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)
保育園幼稚園	30	2	28
小中学校・高校・大学	1	0	0
高齢者施設	1	1	1
医療機関	0	0	1
合計	32	3	30

6 精神保健福祉

個別施策のうち、こころの健康相談については令和2年度(2020年度)と比較して大きな増減はなかったが、自殺未遂者支援事業における相談件数が増加した。

自殺対策については、吹田市自殺対策計画の中間報告年であったことから、中間報告書を作成した。その他、各種会議の開催、人材養成研修、メンタルヘルス市民講演会、各種啓発事業、ゲートキーパー養成研修を行った。令和2年度(2020年度)に新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした事業に関して、オンラインや規模を縮小する等して実施した。また、若年層対策として吹田市内大学及び公立高校との意見交換会を開催しネットワーク構築を推進した。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会については、吹田市地域自立支援協議会の専門部会に位置づけ、福祉部障がい福祉室と共催で実施した。構成機関は44機関で、医療、福祉、教育、住宅等幅広く地域のネットワークの構築を推進した。

保健所精神保健福祉相談件数の変遷 (件)

	支援延件数
令和元年度(2019年度)	3,635
令和2年度(2020年度)	4,102
令和3年度(2021年度)	4,220

※令和元年度(2019年度)は府保健所。

※令和2年度(2020年度)からは「匿名での電話相談」等、継続支援には至らなかった電話やメール相談、他機関からの相談件数も含めた数。

7 難病対策

個別支援・集団支援のほか、難病患者及び家族が地域で安心して医療・介護等を受けることができるよう、市立吹田市民病院と連携会議を開催し、情報交換並びに課題の共有化を行った。

また豊能圏域で開催している大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議の運営に協力し、神経筋難病患者を中心に、地域で安心して医療やケアを受けることができるよう、地域の関係医療機関における課題共有、情報交換等を行った。

<大阪北部地域神経筋難病ネットワーク構築への取組>

	大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議	大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議 (研修会)
令和元年度 2019年度	令和元年(2019年)12月3日 ・報告「患者・家族からみたレスパイト入院のニーズ調査結果」 ・災害対応について ・その他情報交換	令和2年(2020年)3月7日に予定されていた研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。
	*災害をテーマに実施。研修会では「難病患者の地域支援体制に関する研究」班、災害対策プロジェクトチームリーダー 溝口功一医師の講演会を予定していたが中止となった。	
令和2年度 2020年度	*新型コロナウイルス感染症の影響で、会議、研修会とも、中止。	
令和3年度 2021年度	令和3年(2021年)8月26日 ・報告「新型コロナウイルス感染症流行時の受診行動に関するアンケート報告」 ・コロナ禍における医療・介護の連携や療養体制について、各保健所管内における神経筋難病患者のコロナ罹患状況報告と事例紹介 ・意見交換	*新型コロナウイルス感染症の影響で中止。
	*会議は、コロナ禍の関係機関連携をテーマに実施。研修会は、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大により中止となった。	

8 食品衛生

食品等に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、令和3年度食品衛生監視指導計画に基づき、施設の監視指導を実施した。このうち、事故発生時に危害が拡大しやすいスーパーなどの大規模小売店や、食品製造施設については、重点監視対象施設として、食品衛生監視票を用いた監視指導や抜き取り検査等を実施した。

食中毒予防、食品衛生関係法令に基づく規制等について、リーフレットやホームページを作成し、市民や事業者に啓発を実施した。また、令和3年(2021年)6月に食品衛生法が改正することを周知するため、食品等関連事業者に対してリーフレットの郵送等を行った。

また、食中毒の予防啓発事業として、全国的に多発しているカンピロバクター食中毒の発生を防止するために、市内の大学との連携による学内イントラネットでのリーフレット配信等により、同菌による食中毒との関連性が高い生又は加熱不十分の鶏肉の喫食を避けるよう啓発を実施した。さらに、焼き鳥店、居酒屋等の施設に立入し、新たに作成したリーフレットを用いてカンピロバクター食中毒の危険性を周知し、生又は加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、当初計画していた製造所や給食施設の監視指導の大部分、収去検査の一部、食品衛生講習会等啓発事業の実施を中止した。

＜飲食店営業(居酒屋、焼き鳥屋等)に対するカンピロバクター食中毒予防の監視指導件数＞

	監視指導件数	概 要
令和元年度 (2019年度)	2,041	従前の方法に加え、過去に当該食中毒を起こしたか、又は加熱不十分な鶏肉の提供が引続き強く疑われる施設に対し、加熱不十分な鶏肉の提供自粛を強く指導。
令和2年度 (2020年度)	601	申請時に施設立入りし、加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導。
令和3年度 (2021年度)	726	申請時に加えて積極的に施設立入りし、リーフレット等を用いてカンピロバクター食中毒の危険性を周知し、加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導。

＜吹田市内イベント(露店営業等)監視指導件数＞

	監視指導件数	吹田市内イベントでの 食中毒発生件数
令和元年度(2019年度)	632	0
令和2年度(2020年度)	168	0
令和3年度(2021年度)	188	0

9 狂犬病予防・動物愛護管理

公衆衛生の向上と人と動物が共生する社会づくりのため、市報すいたやリーフレット等による普及啓発を行い、狂犬病予防法に基づく飼い犬登録と予防接種の推進、並びに動物の愛護及び管理に関する法律に基づく適正飼養の推進を図った。飼い犬登録等については、鑑札及び注射済票交付事務を市内動物病院でも実施できるよう業務委託を行い、実施率の向上を図った。また、放浪犬の捕獲収容業務、犬猫の引取り及び負傷動物の収容の他、愛護動物に関する苦情相談対応を実施した。

飼い猫等の過剰な繁殖による生活環境被害の軽減と殺処分数の削減を目的とし、超音波式猫忌避装置の貸出し及び避妊去勢手術費用の補助金交付事業を行った。

10 環境衛生

旅館、公衆浴場、理・美容所等の営業関係施設に対し、監視指導等を行い、衛生と安全の確保を図った。併せて、特定建築物や専用水道、遊泳場についても、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

また、感染症を媒介する蚊等健康被害を及ぼす衛生害虫の防除対策、井戸水・貯水槽の衛生管理等について、広報紙に記事を掲載し、市民に対し注意喚起を行った。

〈循環式浴槽を有する社会福祉施設への調査施設数及び水質検査でレジオネラ属菌を検出した施設数〉

年度	現地調査・助言指導した社会福祉施設数	レジオネラ属菌検出施設数
令和元年度(2019年度)	2	2
令和2年度(2020年度)	1	1
令和3年度(2021年度)	0	0

11 地区組織育成

(1) 吹田公衆衛生協力会

支部長 杉本 良一

会員数 172 名(9団体)

食品並びに環境関係組合によって組織され、「健康で明るく住みやすい地域社会づくり」を基本理念として、市民の健康づくり、より良い生活環境づくりに積極的に取り組み、公衆衛生の向上に寄与することを目的に活動して行っている。

(2) 大阪食品衛生協会吹田支部

会長 石井 博章

会員数 79 名(6団体)

食品関係営業者が食品事故防止のため、施設の自主衛生管理体制の確立、衛生講習会等の開催、消費者に対する食品衛生知識の普及等の実践活動を通じ食品の安全性の確保を図り、安全で豊かな地域社会づくりを目指している。

(3) 吹田市給食研究会

※令和2年度より名称変更

会 長 出口 都彦

会員数 73 施設

給食施設関係者(病院、福祉施設、事業所、保育所等)によって昭和 40 年(1965 年)に結成され、栄養管理・給食管理知識の習得、地域の人々の健康づくりのため研修会等を行っている。また、より専門性を深めるため部会を設置し活動を行っている。

(4) 精神障がい者家族会「のぞみ家族会」

精神障がい者家族が、障がいを理解し対応方法を話合う懇談会や、講演会を実施している。

(5) 吹田市断酒会

アルコール依存症とその家族が体験談を通じて、断酒の継続を図っている。

(6) 精神保健ボランティアグループ「アムール」

精神障がい者の施設などでボランティア活動を行っている。

(7) 吹田の精神保健福祉を考える市民の会「こころの交差点」

市民に精神保健福祉に関する啓発活動を行い、毎年、精神障がい者理解促進講座を実施している。

12 広報

(1) 市報、ホームページ、SNS

市報すいたやホームページ、SNS 等の媒体で 保健所で実施している事業の情報を市民に提供している。令和 2 年度(2020 年度)に引き続き、市のトップページには新型コロナウイルス感染症情報のお知らせを掲載し、感染対策やワクチン接種の情報提供に努めた。

<令和 3 年度(2021 年度)その他の主な広報事例>

内容	公開期間	広報媒体	室課名
不正大麻・けし撲滅運動	5 月号	市報すいた	保健医療室
薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	6 月号	市報すいた	保健医療室
薬と健康の週間	5 月 21 日～	ホームページ	保健医療室
	7 月号	市報すいた	
	10 月 27 日～ 11 月 30 日	SNS	
麻薬・覚醒剤乱用防止運動月間	10 月号	市報すいた	保健医療室
はじめませんか？大切な人とあなたの人生会議(英語版リーフレットの掲載)	7 月 5 日～	ホームページ	保健医療室
救急医療の適正利用に御協力ください	11 月 9 日～	ホームページ	保健医療室
ノロウイルスによる食中毒に注意しましょう	1 月 27 日	SNS	衛生管理課
食中毒を予防しましょう	8 月 30 日～	ホームページ	衛生管理課
夏場の食中毒に注意	8 月号	市報すいた	衛生管理課
感染性胃腸炎が流行っているよ	6 月 14 日	SNS	地域保健課
蚊・マダニに注意しましょう	8 月 10 日	ホームページ	地域保健課
もしかして、結核かも(結核予防週間)	9 月 24 日～ 9 月 30 日	本庁デジタルサイネージ	地域保健課
エイズについて知ろう、考えよう。	11 月 24 日～ 12 月 15 日	本庁デジタルサイネージ	地域保健課

5月14日から20日はギャンブル等依存症問題啓発週間です	5月14日～	市報すいた ホームページ SNS	地域保健課
毎年9月10日から16日は自殺予防週間です	9月6日～	市報すいた ホームページ SNS	地域保健課
10月11日から10月17日は精神保健福祉普及運動期間です	10月11日～	ホームページ	地域保健課
11月10日から16日はアルコール関連問題啓発週間です	11月8日～	市報すいた ホームページ SNS	地域保健課
3月1日から3月31日まで自殺対策強化月間です	3月1日～	市報すいた ホームページ SNS	地域保健課

(2)ロビー展示

保健所1階ロビーでは、ポスターの掲示、パンフレットや情報誌の配架を行っている。また、各啓発時期に合わせ、市役所ロビーでパネル展示を行っている。

13 調査・研究

調査研究	学会・会議	研究代表者 (室課名)	共同研究者
吹田市内のかかりつけ薬剤師・薬局機能調査	第80回日本公衆衛生学会総会	保健医療室 吉井 公彦	
濫用のおそれのある医薬品の調査結果	薬事懇話会	保健医療室 山内 祥子	
ACPの普及啓発プログラムの開発 (大阪大学との共同研究)	—	保健医療室 松浦 正和	林憲太朗、廣瀬智恵子、 濱本利美
感染管理認定看護師と保健所による高齢者施設等に対する感染対策支援	第80回日本公衆衛生学会総会	地域保健課 前田 知穂	酒井典子、松林恵介、 柴田敏之
オミクロン株感染者の潜伏期間に係る調査について	新型コロナウイルス対策等推進事業	全国保健所長 会協力事業	柴田敏之
新型コロナウイルス感染症患者の致死率に係る調査について	新型コロナウイルス対策等推進事業	全国保健所長 会協力事業	柴田敏之

第9 活動の指標（市内3か年比較）

各年12月末日現在

項 目				平成 3 0 年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和 2 年 (2020年)	
面 積 (km ²)				36	36	36	
人 口 (人)			男	178,290	179,001	180,161	
			女	193,425	194,556	195,940	
			計	371,715	373,557	376,101	
世 帯 数				171,593	173,561	175,891	
人 口 密 度 (人／km ²)				10,325	10,377	10,447	
医 療 施 設	病 院	一般病院		14	14	14	
		結核療養所		0	0	0	
		精神科病院		1	1	1	
	診 療 所	一 般	数	339	343	356	
			1 施設当り人口	1,097	1,089	1,056	
		歯 科	数	201	203	200	
			1 施設当り人口	1,849	1,840	1,881	
人 口 動 態	出 生		実 数	3,229	2,949	3,080	
			人口千対	8.7	7.9	8.2	
			合計特殊出生率	1.42	1.31	1.31	
	死 亡		実 数	3,012	3,057	3,051	
			人口千対	8.1	8.2	8.1	
	乳児死亡 (再掲)		実 数	4	1	7	
			出生千対	1.2	0.3	2.3	
	自然増加		実 数	217	▲ 108	29	
			人口千対	0.6	▲ 0.3	0.1	
	死 産		実 数	61	65	64	
			出産千対	18.5	21.6	20.4	
	死 産 (自然のみ)		実 数	27	36	31	
			出産千対	8.2	11.9	9.9	
	婚 姻		実 数	1,691	1,848	1,636	
			人口千対	4.5	4.9	4.3	
	離 婚		実 数	507	506	478	
			人口千対	1.4	1.4	1.3	
	主 要 死 因 別 状 況		悪 性 新生物	実 数	903	903	934
				人口10万対	242.9	241.7	248.3
			心疾患	実 数	393	457	422
				人口10万対	105.7	122.3	112.2
			肺 炎	実 数	199	188	159
				人口10万対	53.5	50.3	42.3
			脳血管 疾 患	実 数	167	182	188
				人口10万対	44.9	48.7	50
			不慮の 事 故	実 数	118	80	105
				人口10万対	31.7	21.4	27.9
			自 殺	実 数	54	50	51
人口10万対				14.5	13.4	13.6	
肝疾患			実 数	47	38	50	
			人口10万対	12.6	10.2	13.3	

(注) 1)面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(令和3年(2021年)1月1日現在の面積(国土地理院))による。

2)人口、世帯数は、吹田市住民基本台帳人口による。

3)医療施設数は、保健所に開設の届出のある病院及び診療所数。

4)人口動態は、各年の人口動態総覧、保健所・市町村別(大阪府主要健康福祉データ)による。

第10 事務事業執行概要

保健医療総務室事務概要

保健所内の総合調整、庁舎の維持管理をはじめ、管内の医療施設、施術所、薬局等に対する申請・届出・許認可や監査指導、各種医事免許の受付等の業務を実施。また、吹田市保健所運営協議会、豊能薬事懇話会、豊能地域救急メディカルコントロール協議会の運営や、地域医療推進懇談会等の地域医療推進事業を行っている。

さらに、高齢社会の進展や疾病構造の変化に伴って複雑多様化する市民の医療ニーズに適切に対応するため、大阪府医療計画、大阪府地域医療構想、大阪府健康増進計画、大阪府がん対策推進計画等に基づき、地域における保健・医療・福祉の関係機関と連携を図りながら、医療提供体制の整備や総合的な保健医療サービスの提供に努めるなど、広域的かつ専門的活動を実践している。

1 医事関係事務(根拠法令 医療法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法等)

(1)市内の医事関係施設数(令和4年(2022年)4月1日現在)

① 病院施設数及び病床数

施設数(カ所)			病床数(床)					
15	一般	精神	4,595	精神	感染症	結核	療養	一般
	14	1		412	0	0	320	3,863

② 診療所施設数及び病床

一般診療所						歯科診療所			
施設数(カ所)			病床数(床)			施設数(カ所)		病床数(床)	
363	無床	有床	44	療養	療養以外	203	無床	有床	0
	360	3		0	44		203	0	

③ 助産所

施設数(カ所)			病床数(床)
24	無床	有床	4
	22	2	

④ 施術所

施設数(カ所)			
あはき	あはき(出張)	あはき(滞在)	柔整
298	136	0	192

※あはきとは、あん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうの略称です

⑤ 歯科技工所

施設数(カ所)
49

⑥ 薬局

施設数(カ所)
164

⑦ 衛生検査所

施設数(カ所)
4

(2) 医療機関や施術所等の開設許可や開設届出受理事務等の取扱状況

医療法等の各法令の規定に基づき、病院、診療所等の各種届出受付、許可等の事務を行っている。

令和3年度(2021年度)は主に病院関係 92 件、診療所関係 173 件、施術所関係 168 件の届出等の受付事務や許可等を行った。

施設区分 \ 項目	令和2年度 (2020年度) 総計	令和3年度 (2021年度) 総計	開設届	開設許可 申請 ※	変更許可 申請	変更届	構造設備 使用許可 申請 ※	廃止届 休止・ 再開届
病院	92	92	0	0	58	5	29	0
診療所	164	173	31	25	11	70	0	36
助産所	10	6	3	0	0	0	1	2
歯科技工所	14	5	1			3		1
施術所（あはき）	89	91	18			64		9
施術所（あはき出張）	15	15	9					6
施術所（あはき滞在）	0	0	0			0		0
施術所（柔整）	76	62	16			36		10
計	460	444	78	25	69	178	30	64
収 入 済 額 (円)			1, 713, 000					

※は手数料を要するもの

(3) 医事免許関係取扱件数

中核市移行に伴い、医師、歯科医師、保健師等の医療従事者免許に係る各種申請、届出等の受付処理事務を、大阪府との委託契約により実施している。

令和3年度(2021年度)は 1,264 件の申請・届出等の受付、処理を行った。

区 分	令和2年度総計 (2020年度)	令和3年度総計 (2021年度)	免許申請	訂正	書換交付	再交付	籍抹消	返納
総 数	1278	1264	549	341	331	28	14	1
医師法	105	86	33	21	20	2	10	0
歯科医師法	26	33	11	8	7	3	3	1
保健師助産師看護師法	880	867	376	237	237	17	0	0
診療放射線技師法	18	8	3	2	2	1	0	
臨床検査技師等に関する法律	32	22	14	4	4	0	0	0
理学療法士及び作業療法士法	89	96	56	19	19	2	0	
視能訓練士法	13	6	5	0	0	1	0	0
母体保護法 (受胎調節実施指導員指定証)	0	3	1	2	0	0	0	0
死体解剖保存法 (認定医)	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤師法	115	143	50	48	42	2	1	0

2 薬事関係事務(根拠法令 医薬品医療機器等法、毒物劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律等)

(1) 事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分		手 数 料 (円)	令和2年度 (2020 年度) 処 理 数	令和3年度 (2021 年度) 処 理 数
薬局	許 可 申 請	29,000	10	15
	更 新 申 請	11,000	22	17
	書 換	2,000	0	0
	再 交 付	2,900	0	0
薬局製剤製造業	許 可 申 請	11,000	0	1
	更 新 申 請	5,600	6	1
	書 換	2,000	0	0
	再 交 付	2,900	0	0
薬局製剤製造 販売業	許 可 申 請	6,300	0	1
	更 新 申 請	4,000	6	1
	書 換	2,000	0	0
	再 交 付	2,900	0	0
薬 局 製 剤 製 造 販 売 承 認 申 請		37,800	0	1
店舗販売業	許 可 申 請	29,000	5	9
	更 新 申 請	11,000	7	6
	書 換	2,000	1	2
	再 交 付	2,900	0	0
高度管理医療機 器等販売・貸与業	許 可 申 請	29,000	31	28
	更 新 申 請	11,000	17	27
	書 換	2,000	5	1
	再 交 付	2,900	0	1
毒物劇物販売業	登 録 申 請	14,700	17	11
	更 新 申 請	6,400	17	22
	書 換	2,400	0	0
	再 交 付	4,000	0	0
衛 生 検 査 所 登 録 関 係	登 録	80,000	3	0
	登 録 変 更	61,000	0	0
	書 換	8,200	0	0
	再 交 付	8,200	0	0
合 計			147	144
令和 3 年度(2021 年度)収入済額			2,434,100	

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和2年度 (2020年度) 処 理 数	令和3年度 (2021年度) 処 理 数
薬 局 関 係	167	591
店 舗 販 売 業 関 係	45	144
管 理 医 療 機 器 関 係	69	70
高 度 管 理 医 療 機 器 等 関 係	73	100
毒 物 劇 物 販 売 業 関 係	14	38
毒 物 劇 物 業 務 上 取 扱 者 関 係	13	0
衛 生 検 査 所 関 係	5	2
合 計	386	945

3 医療相談

市民に身近な地域において医療に関する相談や苦情に対応するため、医療相談窓口を整備し、医療の安全と信頼を高め、管内の医療機関における患者サービスおよび医療の質の向上に資するために相談事業を実施した。

相談・苦情受付件数(延べ数)

	計	電話	文書	来所	メール
令和元年度 (2019年度)	224	230	0	16	1
令和2年度 (2020年度)	206	188	2	13	3
令和3年度 (2021年度)	273	241	1	24	7

4 医療機関の立入検査及び実地指導等

(1) 病院・診療所立入検査(根拠法令 医療法)

市内の病院に対し、医療の安全等に係る年1回の定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。
また、市内の有床診療所や人工透析を行っている診療所に対し、3年に1回の定期立入検査を実施。
さらに、市内の無床診療所や歯科診療所等に対して、新規開設時に現地調査を行っている。

ア 病院立入件数(定期)

実施時期 令和3年(2021年)9月～令和4年(2022年)1月

実施病院数 15 病院

但し、4病院については実施時期が緊急事態宣言中であったため、病院から提出された各種書類を、保健所が検査する書面検査のみを実施。

イ 診療所立入件数(定期)

実施時期 令和4年(2022 年)2月～3月

実施病院数 4診療所

新型コロナウイルスの影響により、診療所から提出された各種書類を、保健所が検査する書面検査のみを実施。

ウ 診療所立入件数(新規開設)

実施時期 新規開設時(移転開設時を含む)

実施診療所数 31 診療所

(2)精神科病院実地指導

精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律第 38 条の6及び第 38 条の7に基づく実地指導を実施した。

実施時期 令和3年(2021 年)10 月

実施病院数 2病院

(3)厚生労働省医政局医事課長通知に基づき、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、及び柔道整復師の業及び施術所の広告に関する指導を行った。

施術所数 490 施設(令和4年(2022 年)3月 31 日現在)

広告の指導実施数 14 件

5 薬事関係立入検査

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律及びそれら関係法令の遵守の確認のため、立入検査を実施した。

施設数・申請の種別等		令和 2 年度 (2020 年度) 立入検査件数	令和 3 年度 (2021 年度) 立入検査件数
施設の区分			
薬局等医薬品販売業	薬局	33	31
	薬局製造販売医薬品製造・製造販売業	7	14
	店舗販売業	21	4
	計	61	49
医療機器販売業・貸与業	高度管理医療機器等販売業・貸与業	93	59
	管理医療機器販売業・貸与業	587	6
	計	680	65
毒物劇物販売業	一般販売業	20	25
	農業用品目販売業	0	1
	特定品目販売業	0	0
	計	20	26
衛生検査所		1	1
計		762	141

6 薬事関連啓発事業

(1) 薬と健康の週間に関する啓発

薬と健康の週間(10月17日～10月23日)に向け、7月号の市報に大阪府薬剤師会主催の小学生向けポスターと社会人向け川柳の募集案内を掲載し、同週間の期間中、市役所・保健所内、阪急電鉄駅構内(市内の7駅)において、ポスター掲示による啓発を行った。また、本市も委員として参加している大阪府「薬と健康の週間」実行委員会で作成した啓発用クロスワードクイズ付きリーフレットを保健所、市役所、エキスポシティ内吹田市情報発信プラザにおいて配架し啓発を行った。

(2) 薬物乱用防止に関する啓発

ア 5月(不正大麻・けし撲滅運動)、6月(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)及び10月(麻薬・覚醒剤乱用防止運動月間)に市報にて、薬物乱用防止等の啓発記事を掲載した。

イ 薬物乱用防止啓発用のポスター及び定規を作成した。令和2年度(2020年度)に作成した啓発用クリアファイルは、薬学生の実習や市内の小学校での薬物乱用防止教室等での配布や、市役所エントランスに配架している。また、ポスターについては、令和4年度(2022年度)の6～7月の「ダメ。ゼッタイ」普及運動や10月～11月の麻薬・覚醒剤乱用防止運動期間に市内各所での掲示や7月に市内5大学での掲示の依頼を予定している。

ウ 市内の学校薬剤師等による薬物乱用防止教室で用いられる薬物乱用防止啓発リーフレットを配布した。

7 その他薬事関連事業

(1) 毒物劇物の取扱管理状況調査

毒物劇物一般販売業登録業者で実際毒物劇物を保管管理している業者に対し、取扱品目、保管量、管理体制等の調査を行い、実態の把握を行った。

(2) 毒物劇物等薬物中毒に対する解毒剤の備蓄状況調査

保健所における危機管理業務の一環として、毒物劇物等薬物中毒発生時に迅速な対応が行えるよう、市内の二次救急指定病院等を対象に「毒物劇物等薬物中毒に対する解毒剤の備蓄状況調査」を茨木保健所生活衛生室薬事課と実施した。その結果及び連絡体制を関係機関(病院、警察、消防、医師会、薬剤師会、保健所)と共有した。

今後も、より一層の危機管理体制整備を図るために、本事業を継続していく。

8 保健所運営協議会(根拠法令 地域保健法)

(1) 概要

市内の地域保健及び保健所運営に関する事項について審議する。

(2) 開催状況

開催年月日	出席委員	会議内容
令和3年(2021年) 7月5日(月)	10	(1)吹田市保健所運営協議会の運営について (2)吹田市保健所における新型コロナウイルス感染症 に対する取組について

(3) 委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏名	所属	備考
磯 博康	大阪大学(医学系研究科)教授	委員長
笠原 幸一	大阪府吹田警察署 署長	
北本 恒雄	吹田市社会福祉協議会 常務理事	
杉本 良一	吹田公衆衛生協力会 会長	
立木 靖子	吹田市薬剤師会 会長	
土井 有羽子	千里金蘭大学(看護学部)教授	
古川 國久	吹田商工会議所 副会頭	
増田 百合子	大阪府助産師会吹田班 班長	
三木 秀治	吹田市歯科医師会会長	
御前 治	吹田市医師会会長	副委員長
三谷 一裕	吹田市健康づくり推進事業団 理事長	

9 大阪府医療計画推進にかかわる会議

(1) 豊能医療・病床懇話会(事務局 大阪府池田保健所)

大阪府全域の現状・課題の共有、二次医療圏の現状・課題の共有、2025 年に向けた各病院の方向性の共有、地域医療への協力に関する意向書の確認、医療計画における二次医療圏の中間評価等を行う。

ア 豊能圏域病院連絡会

(ア) 概要

将来の医療需要に見合ったあるべき医療提供体制の構築に向け、医療機能の分化・連携を推進する

ため、管内全ての病院が一同に集まり各病院の今後の方向性について協議を行う。豊能二次医療圏内病床機能報告対象病院(吹田市内の14病院)を対象に実施。

(イ)開催状況

開催年月日	出席病院	会 議 内 容
令和3年(2021年) 12月13日	43病院中36病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・豊能二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況 ・2025年に向けた病院の今後の方向性について(病院からの説明)

(2)豊能薬事懇話会

ア 概要

豊能薬事懇話会は、大阪府医療計画に基づき、豊能二次医療圏内における薬事に関連事項の推進を目的として保健医療関係者等が意見交換を行う会議である。「患者のための薬局ビジョン」により、将来の薬局のあり方が示されたことや、昨今、医薬品等に関する問題が頻繁に発生していることに関連し、令和元年(2019年)に医薬品医療機器等法の大規模な改正がなされた。従って、地域医療の一端を担っている薬局のあり方をめぐる議論や医療機関・地域と薬局の連携情報交換のための本懇話会の開催の必要性は高いため、令和2年度(2020年度)は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を見送ったが、令和3年度(2021年度)は書面及びWebを用いて実施した。

イ 開催状況

開催年月日	出席委員	会 議 内 容
令和3年(2021年) 12月1日	12	(1) 豊能地域における薬局の今後の方向性について (2) 医薬連携、診療連携、薬薬連携など、情報共有と中心とした連携に関する意見交換

ウ 委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏 名	所 属	備 考
林 良紀	箕面市薬剤師会 会長	会長
村田 勇二	箕面市医師会 副会長	
清水 達也	池田市歯科医師会 会長	
中村 圭子	池田市薬剤師会 会長	
芦田 康宏	豊中市薬剤師会 会長	
立木 靖子	吹田市薬剤師会 会長	
勝浦 正人	吹田市民病院 薬剤部長	

杉本 幸恵	大阪府薬剤師会 常務理事	
藤井 彰三	池田市子ども・健康部 部長	
北村 清	箕面市健康福祉部 部長	
松岡 太郎	豊中市健康医療部 部長兼保健所長	
梅森 徳晃	吹田市健康医療部 部長	
桑原 康男	豊能町健康福祉部 部長	
新谷 哲生	能勢町健康福祉部 部長	

(3) 豊能地域救急メディカルコントロール協議会

ア 概要

大阪府医療計画に定められた二次医療圏の豊能地域における救急搬送体制及び救急医療体制の向上に資するため、消防機関と医療機関が一体となったメディカルコントロール体制と救急医療機関の受入体制の充実を図ることを目的に開催している。

イ 開催状況

開催年月日	出席委員	会 議 内 容
令和3年(2021年) 7月28日 (オンライン開催)	18人	・MC協議会の委員名簿について ・教育小委員会からの報告 ・検証小委員会からの報告
令和4年(2022年) 1月14日 (オンライン開催)	18人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け)について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について ・実施基準検証について

ウ 委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏 名	所 属	備 考
小倉 裕司	大阪大学医学部附属病院	会長
飯尾 雅彦	豊中市医師会	副会長
渡邊 正	吹田市消防本部	副会長
中川 理	市立豊中病院	
大橋 康志	豊中市消防局	
林 靖之	大阪府済生会千里病院	

酒井 智彦	大阪大学医学部附属病院	
田原 良雄	国立循環器病研究センター	
平山 博	大阪府済生会吹田病院	
渡邊 太郎	関西メディカル病院	
巽 孝彦	巽病院	
公文 啓二	吹田徳洲会病院	
松浦 光洋	箕面市消防本部	
藪田 浩一	市立吹田市民病院	
若山 暁	大阪脳神経外科病院	

(4) 豊能心血管疾患地域医療連携推進会議

ア 概要

第5次大阪府保健医療計画に基づき、平成20年度より、圏域で4疾病(脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、がん)の地域連携パス導入に着手し、旧大阪府吹田保健所(現吹田市保健所)は急性心筋梗塞を担当している。

平成30年度からは、第7次医療計画に基づく地域医療連携推進事業において、対象疾患に心不全等を含めた心血管疾患等に拡大し、診療情報提供書を活用した病診連携の推進を行っている。

イ 開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

ウ 委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏 名	所 属	備考
野口 暉夫	国立循環器病研究センター	座長
泉 知里		
大濱 透	大阪大学医学部附属病院	
奥田 啓二	大阪府済生会千里病院	
石神 賢一	大阪府済生会吹田病院	
黒住 祐磨	巽病院	
天野 知徳	吹田徳洲会病院	
永井 邦彦	市立池田病院	
北尾 隆	箕面市立病院	
熊田 全裕	市立豊中病院	
福田 憲二	市立吹田市民病院	
石河 開	池田市医師会	
村田 勇二	箕面市医師会	
澤村 昭彦	豊中市医師会	

財田 滋穂	吹田市医師会	
-------	--------	--

10 吹田市医療審議会

(1) 概要

吹田市の施策として実施する一次救急医療、在宅医療、災害時医療等の医療関係諸問題等に関する案件について報告・審議を行っている。

(2) 開催状況

開催年月日	出席委員	会 議 内 容
令和3年(2021年) 10月8日 (オンライン開催)	11人	・新型コロナウイルス感染症に対する主な取組と今後の医療提供体制について ・在宅医療推進に関する取組について ・市内病院等の救急受入状況等について

(3) 委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏 名	所 属
御前 治	吹田市医師会
新居延 高宏	
相馬 孝	
三木 秀治	吹田市歯科医師会
千原 耕治	
立木 靖子	吹田市薬剤師会
飯原 弘二	国立循環器病研究センター
土岐 祐一郎	大阪大学医学部附属病院
中谷 敏	大阪府済生会千里病院
島 俊英	大阪府済生会吹田病院
矢野 雅彦	市立吹田市民病院
今村 知明	奈良県立医科大学

11 吹田市地域医療推進懇談会

(1) 概要

今後一層の進展が見込まれる高齢化に対し、大幅に増大する在宅医療等の医療需要に見合った必要

な在宅医療の環境づくりの推進や、かかりつけ医等の定着促進等、地域医療の推進を目的に、医療提供者主体における検討を行っている。

(2)開催状況

開催時期	出席委員	会 議 内 容
令和3年(2021 年) 11 月 (書面開催)	-	・かかりつけ医の定着促進に関する市民啓発のあり方について ・令和3年度 ACP 推進事業について ・令和2年度医療に関する市民アンケートの結果 ・令和2年度訪問看護の実態調査結果 ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組の進捗状況

(3)委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏 名	所 属
森 直人	吹田市医師会
千原 耕治	吹田市歯科医師会
岡橋 義弘	吹田市薬剤師会
泉 知里	国立循環器病研究センター
横山 世理奈	大阪大学医学部附属病院
岩間 紀子	大阪府済生会千里病院
兼古 望	大阪府済生会吹田病院
戎井 力	市立吹田市民病院
田村 学	日本在宅医療連合学会
新田 美和子	吹田市介護保険事業者連絡会 訪問看護事業者部会
樺山 舞	大阪大学大学院

12 吹田市地域医療推進市民講演会

(1)概要

市民に医療機関の役割や在宅療養という選択肢を知り考えていただくことを目的とし、「かかりつけ医等の定着促進・在宅療養・看取り」の主に 3 つのテーマについて、市民シンポジウムや市民講演会を開催している。

(2)開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、開催中止

13 豊能二次医療圏救急医療対策事業

豊能医療圏に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者を受け入れる医療機関に対し、その運営費の一部を補助し、地域における救急傷病者への医療体制の整備を図るもの。

【決算額】

項目	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021年度)
決算額 (円)	14,656,844	14,672,682	14,827,145	14,678,264	14,722,473

14 豊能広域こども急病センター事業

小児の一次救急を整備するため、平日の夜間、日曜日、祝日、年末年始の小児一次救急患者を診察する「豊能広域こども急病センター」の管理運営費用を吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が負担。

【決算額】

項目	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)
決算額 (円)	13,267,822	3,604,060	5,172,376	52,071,000	31,082,124

15 地域のネットワーク会議等

管内の健康づくり、医療・介護サービスの提供体制、危機管理における関係機関相互の連絡調整等を行うため、関係機関等主催の各種会議に参画し、具体的な方策の検討等を行った。

会議名	保健所 参加回数	参加機関等	事務局	内 容
吹田市域ケアネット実務者 懇話会	1回 (書面)	医師会、高齢福祉室、地域 包括支援センター、居宅介 護支援部会、市内の病院、 保健所	高齢福祉 室	医療とケアの円滑な連携を図るため の方策を検討する。

吹田市在宅医療・介護連携推進協議会	1回 (書面)	医師会、歯科医師会、薬剤師会、市内の病院、介護保険サービス事業者、高齢福祉室、保健医療室	高齢福祉室	在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、在宅医療と介護の連携強化に関して協議する。
豊能医療圏域がん医療ネットワーク協議会	2回	圏域医師会、がん診療拠点病院、市町村保健主管課、大阪府健康づくり課、大阪国際がんセンター、大阪がん循環器病予防センター、保健所	市立豊中病院	豊能圏域におけるがんに対する地域連携体制を構築し、地域におけるがん医療水準の向上を図るため協議する。
吹田市学校保健会 理事会	4回 (内1回は書面)	医師会、歯科医師会、薬剤師会、教育委員会、小中学校、教育センター、保健センター、保健所	吹田市教育委員会 学校教育 部保健給食室	吹田市における学校保健の振興を図り、学校教育の円滑な実施について協議する。

16 健康危機管理に対する取組

(1) 管内における感染防止体制の構築

ア 吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議

事業名	対象	開催年月日	主な内容
吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議	管内15病院 感染対策担者、吹田市消防本部、大阪健康安全基盤研究所	令和3年(2021年) 6月23日 (オンライン開催)	・講義:新型コロナウイルスの院内感染発生時の対応について ・報告:新型コロナウイルスの対応について(井上病院、吹田徳洲会病院、榎坂病院、吹田市保健所)
		令和4年(2022年) 2月3日 (オンライン開催)	・講義:新型コロナウイルスの現状と今後の見通しについて ・意見交換:第6波における病院の状況と対応
院内感染対策に係る支援チームの派遣	管内病院 管内高齢者施設等	随時	・施設における感染対策の助言 ・研修の実施 ・施設内ラウンド
高齢者施設等の感染症対策研修支援	管内高齢者施設	令和3年(2021年) 12月24日 令和4年(2022年) 3月29日 (オンライン開催)	・新型コロナウイルス感染症感染対策研修の開催(年2回)

イ 吹田市福祉部職員への感染対策研修

業務上関わりの深い福祉部職員が、新型コロナウイルス感染症を含む感染対策についての知識を高めることで、適切に事業者等への指導助言、実地指導等を行い、事業者等の感染対策が向上することを目的に研修を実施。

開催年月日	参加人数	主な内容
令和3年(2021年) 6月18日 (オンライン開催)	42	新型コロナの現状、感染対策の考え方、具体的な感染対策

ウ 吹田市新型インフルエンザ等合同訓練

新型インフルエンザ等が疑われる患者が発生した場合を想定した患者への対応、院内の感染拡大防止策、患者搬送、病院と保健所の連携体制等について訓練を実施。

開催時期	参加病院	主な内容
令和3年(2021年) 8月 (書面開催)	15	新型コロナ感染症の院内感染が発生した場合を想定し、役割分担や組織体制について、各病院が事例検討・机上訓練を行う

エ 吹田市医師会会員等向け感染対策研修

第6波の感染拡大に備え、自宅療養者の地域における医療・療養体制を強化し、重症者の発生を抑制することを目的に吹田市医師会会員等を対象に実施。

開催年月日	参加人数	主な内容
令和3年(2021年) 12月1日 (オンライン開催)	129	第6波に向けた自宅療養者への医療体制の強化に関する研修 ・医療機関における COVID-19 の診療、治療の実態について等

(2) 新型コロナウイルス感染症に関する調整会議

新型コロナウイルス感染症の感染状況等に関する現状共有と、全医療機関の協力による医療提供体制について協議・検討を行う。

開催年月日	対象	主な内容
令和3年(2021年) 4月16日 (オンライン開催)	管内 15 病院、3 師会、 吹田市消防本部	・管内の新型コロナウイルス感染症の状況報告 ・意見交換

(3) 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者等への支援事業

事業名	期間	内容
自宅療養者等への医療提供実施協力金交付事業	令和3年(2021年) 5月18日～ 令和4年(2022年) 3月31日	酸素投与や投薬等の医療提供が必要な方に対する往診や電話・オンライン診療の体制の確保のため、協力金を交付。 実績: 往診 190 件、電話・オンライン診療 1,142 件、 訪問看護 54 件

自宅療養者等への訪問看護師による健康観察事業	令和3年(2021年) 7月19日～ 令和4年(2022年) 3月31日	状態悪化の早期把握と診療や入院等への早期対応を目的に訪問看護師による健康観察等を実施。 実績: 48件
入院待機ステーション	令和3年(2021年) 8月31日～ 令和4年(2022年) 3月31日	医療ひっ迫により、入院が必要と判断された患者の入院先決定までに時間を要する場合に備え、一時的に待機して酸素投与等を行うことができる場所を開設。 実績:利用者0人
自宅療養者等への酸素濃縮器配備体制の構築	令和3年(2021年) 8月31日～ 令和4年(2022年) 3月31日	感染拡大時において、医療機関での酸素濃縮器の確保が困難な場合に、市が確保する酸素濃縮器を医療機関に提供する。 実績:5件

(4) 所内における健康危機管理体制の整備

事業名	開催年月日	内容
豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修	令和3年(2021年) 10月23日 (オンライン開催)	コロナ禍における複合災害について(机上シミュレーション)
部内災害訓練	令和4年(2022年) 1月16日	吹田市一斉合同防災訓練に併せ、ブライント型訓練を実施。 具体的な内容:初動体制の確立、医療機関の被災状況等の情報収集、それを踏まえた対応協議、関係部局や関係機関との連携等を行いながら、与えられたミッションをこなす。
その他所内災害訓練	随時	大阪府救急・災害医療情報の入力訓練、MCA無線や衛星電話の発信訓練、発電機の使用訓練を実施

17 統計事務

(1) 各種調査

名称	調査基準日	対象	件数	調査内容
人口動態調査業務	通年	吹田市全域	—	各種人口動態調査票について、審査、照会、回答、移送等の業務
国民生活基礎調査	令和3年(2021年)6月3日	3地区	187	国民の保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的な事項に関する調査
社会保障・人口問題基本調査	令和3年(2021年)6月30日	3地区	169	社会保障及び人口問題に関する調査。5つの調査で構成されており、令和3年度(2021年度)は、国内の結婚、出産、子育ての現状と課題に関する調査である「出生動向基本調査」を実施。

18 保健所業務の総合調整

(1) 保健所内の総合調整

保健所における事業の円滑な推進を図るため、各室課間の総合調整を行っている。

(2) 関係機関との連絡調整

保健所における保健医療施策の推進や、大規模災害時の医療提供体制、新型インフルエンザ等感染症対応の協力体制の整備等のため、医療関係機関との連絡調整を行っている。

19 施設設備の管理及び整備

(1) 庁舎の維持管理状況

区 分	施工内容	数量	金額 (円)	竣工年月日
施設改修	自動扉装(玄関外側)修繕業務	1	506,000	令和4年(2022年)2月26日
施設改修	その他修繕業務	8	999,154	随 時

(2) 主たる備品の購入状況

(1 件 10 万円以上)

品 名	規格型式	数量	単価(円)	金 額(円)	購入年月日
保健所出入口用 検温システム	AI 検温システム K7N スタンドセット	2	141,427	282,854	令和3年(2021年) 7月8日
セミセルフレジ	WILLPOS Touch QT-20 及び自動 釣銭機 VT-330	1	976,800	976,800	令和4年(2022年) 2月24日

20 保健衛生関係の表彰

(1) 個人

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 1名
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(2) 団体

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(3) 施設

- ① 大阪府知事表彰(食品) 飲食店営業施設等 2 施設
- ② 大阪府知事表彰(環境) 理容所、美容所施設等 5 施設
- ③ 公衆衛生協力会優良施設(所長・協力会長)表彰(新型コロナウイルス感染症のため中止)

21 厚生労働統計関係の表彰 1名

22 研修及び実習指導関係

(1) 医師臨床研修

対象:社会福祉法人恩賜財団済生会吹田病院 初期臨床研修医

期間:令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

内容:保健所における予防医療理解のため、結核管理家族検診に各1～2名見学

(2) 医師学生実習 なし

(3) 保健師学生等実習指導

区 分	派遣元の施設名	期 間	日数	人員	指 導 内 容
保健師 学生	藍野大学	令和3年(2021年)7月26日～ 令和3年(2021年)7月30日 令和3年(2021年)8月30日～ 令和3年(2021年)9月17日	8	5	保健所における 公衆衛生活動に ついての指導
	大阪府立大学	令和3年(2021年)10月5日～ 令和3年(2021年)10月20日	8	5	

衛生管理課事務概要

市民の生活衛生の維持向上及び安全確保を図るため並びに愛護動物の適正飼養等を推進するため、関係機関と密接に連携をとりながら食品衛生、環境衛生、狂犬病予防及び動物愛護の各業務を実施した。

1 食品衛生

(根拠法令:食品衛生法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、大阪府ふぐ処理業等の規制に関する条例、食品表示法)

食品衛生法等の関係法令に基づき、飲食店営業等の食品営業許可等の許認可事務を実施した。

許可を要する施設及び集団給食等の届出を要する食品関係施設に立ち入り、施設の衛生管理、食品の衛生的取扱い、適正表示等について監視指導を実施した。

医師、患者、他自治体等からの食中毒を疑う事例の通報等に基づき、患者調査、検査、施設立入調査等の食中毒調査を実施した。なお、令和3年度(2021年度)に食中毒と断定した事例は1件であった。

市内で製造、加工、販売等される食品等について、違反の可能性が比較的高いと考えられる食品等に対し、流通量の季節的变化、規格基準及び衛生規範等を考慮し、収去検査を実施した。

食中毒の原因となった施設や残留農薬等の規格基準に適合しない食品に対しては、法令に基づき営業の禁停止、食品等の回収・廃棄等の行政処分を実施するが、令和3年度(2021年度)については該当事例の発生はなかった。

食品の異物混入、摂食後の体調不良等の苦情や営業者からの許認可、衛生管理等の相談に対し、調査、指導等を実施した。

食品衛生に関する知識や食中毒予防の普及啓発を目的とし、食品等事業者や消費者に対し、衛生講習会、啓発キャンペーン等を実施しているが、昨年度同様に令和3年度(2021年度)については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見合わせた。

食品衛生法改正に伴う許可業種変更及び届出制度の創設をまとめた啓発媒体を管内食品等事業者へ郵送した。また、食品等事業者に対するHACCPに沿った衛生管理の啓発や管内大学の学生に対するカンピロバクター食中毒予防啓発等、市ホームページでの発信や大学内イントラネットを活用した発信により、また、本市公式のSNSを用いてノロウイルス食中毒予防を発信し、食品衛生の普及啓発を実施した。

医師、施設等からの感染症に関する届出や報告のうち、感染性胃腸炎等については、地域保健課感染症担当と連携し、摂食した食品に起因する可能性がないか調査を行うとともに施設関係者への衛生指導等を実施した。

(1)監視指導

ア 旧食品衛生法に基づく許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和元年度 (2019 年度)		令和2年度 (2020 年度)		令和3年度 (2021 年度)	
	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	3,115	1,264	3,076	751	2,656	305
菓 子 製 造 業	435	292	449	106	392	53
乳 製 品 製 造 業	4	8	5	3	5	0
魚 介 類 販 売 業	229	182	227	53	192	27
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業	3	7	2	1	2	0
食品の冷凍又は冷蔵業	17	17	19	8	17	4
び ん 詰 食 品 製 造 業	6	10	4	2	5	0
喫 茶 店 営 業	368	131	333	81	254	18
アイスクリーム類製造業	20	20	24	7	20	1
乳 類 販 売 業	401	230	379	73	－	－
食 肉 処 理 業	13	26	13	3	9	2
食 肉 販 売 業	248	200	261	77	228	33
食 肉 製 品 製 造 業	3	6	3	3	3	1
食 用 油 脂 製 造 業	1	2	1	0	1	0
み そ 製 造 業	1	1	1	0	1	0
醬 油 製 造 業	1	1	1	0	1	0
ソ ー ス 類 製 造 業	4	6	4	1	2	0
酒 類 製 造 業	1	2	1	0	1	0
豆 腐 製 造 業	2	10	3	1	3	0
め ん 類 製 造 業	12	17	16	6	15	1
そ う ざ い 製 造 業	39	70	44	20	39	10
添 加 物 製 造 業	5	4	5	0	2	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業	4	5	4	0	4	0
氷 雪 販 売 業	4	3	4	0	－	－
合 計	4,936	2,514	4,879	1,196	3,852	455

※乳類販売業及び冰雪販売業は改正食品衛生法に基づく届出を要する営業施設になったため、令和3年(2021 年)以降は該当なし

イ 改正食品衛生法に基づく許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和3年度 (2021 年度)	
	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	578	605
調理の機能を有する自動販売機	2	2
食 肉 販 売 業	15	17
魚 介 類 販 売 業	9	11
食 肉 処 理 業	1	1
菓 子 製 造 業	67	70
アイスクリーム類製造業	1	1
乳 製 品 製 造 業	0	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業	0	0
食 肉 製 品 製 造 業	0	0
水 産 製 品 製 造 業	2	2
食 用 油 脂 製 造 業	0	0
みそ又はしょうゆ製造業	0	0
酒 類 製 造 業	0	0
豆 腐 製 造 業	0	0
麺 類 製 造 業	1	1
そ う ざ い 製 造 業	18	18
複 合 型 そ う ざ い 製 造 業	1	1
冷 凍 食 品 製 造 業	1	1
複 合 型 冷 凍 食 品 製 造 業	0	0
漬 物 製 造 業	0	0
密 封 包 装 食 品 製 造 業	2	3
食 品 の 小 分 け 業	3	4
添 加 物 製 造 業	3	3
合 計	704	740

ウ 改正食品衛生法に基づく届出(※)を要する営業施設監視指導状況

業 種 別		令和3年度 (2021年度)	
		施 設 数	監 視 回 数
旧許可業種で あった営業	魚 介 類 販 売 業 (包装済みの魚介類のみの販売)	16	2
	食 肉 販 売 業 (包装済みの食肉のみの販売)	9	2
	乳 類 販 売 業	448	26
	氷 雪 販 売 業	4	0
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	169	0
販 売 業	弁 当 販 売 業	5	0
	野 菜 果 物 販 売 業	22	1
	米 穀 類 販 売 業	15	0
	通信販売・訪問販売による販売業	6	0
	コンビニエンスストア	49	2
	百貨店、総合スーパー	58	12
	自動販売機による販売業 (コップ式自動販売機(自動洗浄・屋内設置)を除く)	76	2
	その他の食料・飲料販売業	445	3
製 造 ・ 加 工 業	いわゆる健康食品の製造・加工業	2	0
	コーヒー製造・加工業 (飲料の製造を除く。)	9	0
	調味料製造・加工業	7	2
	精 穀 ・ 製 粉 業	1	0
	製 茶 業	1	0
	その他の食料品製造・加工業	14	2
上記以外のもの (改正法による 改正後の法第6 8条第3項にお いて準用される ものを含む。)	行 商	16	0
	集 団 給 食 施 設	111	1
	器具、容器包装の製造・加工業 (合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。)	2	0
	露店、仮設店舗等における飲食の 提供のうち、営業とみなされないもの	1	0
	そ の 他	4	0
合 計		1,490	55

※食品衛生法改正により、非許可営業施設ではなく届出を要する営業施設になり、業種が変わったため。

エ 府条例により許可を要する営業

業 種 別		令和元年度 (2019 年度)		令和2年度 (2020 年度)		令和3年度 (2021 年度)	
		施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
ふぐ処理業	飲 食 店 営 業	35	16	34	5	32	2
	魚 介 類 販 売 業	24	22	21	7	22	7
	そ の 他	1	0	1	0	0	0
	合 計	60	38	56	12	54	9

オ 改正食品衛生法に基づくふぐを処理する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和3年度 (2021 年度)	
	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	1	1
魚 介 類 販 売 業	3	4
合 計	4	5

カ 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に規定する営業

業 種 別	令和元年度 (2019 年度)		令和2年度 (2020 年度)		令和3年度 (2021 年度)	
	施設数	監視回数	施設数	監視回数	施設数	監視回数
食鳥処理場(30 万羽以上処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(生体から処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(と体から処理)	5	5	5	0	5	1
合 計	5	5	5	0	5	1
届出食肉販売業	0	0	0	0	0	0
合 計	5	5	5	0	5	1

(2) 食中毒

ア 食中毒発生状況(管内)

令和元年度 (2019 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)							
事件数	事件数	発生年月日	発生場所	患者数	症状	原因食品	原因物質	原因施設	備考
1	1	令和3年 (2021 年) 10 月 25 日	吹田市	1	発熱、 腹痛、 下痢 等	不明	カンピロバク ター・ジェジ ユニ	不明	

イ 食中毒関連調査(他府県市等管外からの依頼調査)

令和元年度 (2019 年度)			令和2年度 (2020 年度)			令和3年度 (2021 年度)			備 考
調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	
15	18	11	13	15	14	6	31	15	

ウ 食中毒等関連検査

検 体 名	令和元年度 (2019 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)
食 品	5	0	0
便	41	17	12
吐 物	0	0	0
ふきとり	7	0	0
容 器	0	0	0
その他	0	0	1
合 計	53	17	13

(3) 食品等の検査

検 体 名	令和元年度 (2019 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)
魚 介 類	17	9	5
冷 凍 食 品	2	2	2
魚 介 類 加 工 品	12	10	5
肉・卵類及びその加工品	49	28	15
乳 製 品	11	5	5
乳 類 加 工 品	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	4	0	0
穀 類 及 び そ の 加 工 品	1	1	1
野菜類・果物及びその加工品	47	23	21
菓 子 類	1	2	4
清 涼 飲 料 水	4	3	1
水	2	1	1
酒 精 飲 料	0	0	0
かん詰・びん詰食品	7	7	3
そ の 他 の 食 品	10	4	2
器 具 容 器 包 装	2	1	1
添加物化学的合成品	0	0	0
小 計	169	96	66
生乳・牛乳・加工乳等	7	1	3
ふ き と り 検 査	0	0	0
そ の 他	64	22	98
合 計	240	119	167

(4) 違反処分の状況

令和元年度(2019 年度)				令和2年度(2020 年度)				令和3年度(2021 年度)			
違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置
	無し				無し				無し		

法: 食品衛生法

(5) 食品衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分	令和元年度(2019 年度) 処理数	令和2年度(2020 年度) 処理数	令和3年度(2021 年度) 処理数
食品衛生法に基づくもの	787	980	884
府 条 例 に 基 づく も の	5	4	0
食 鳥 関 係 に 基 づく も の	0	0	0
証 明 願		21	17
合 計	792	1005	901
当 年 度 収 入 済 額	11,696,400 円		

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和元年度(2019 年度) 処 理 数	令和2年度(2020 年度) 処理数	令和3年度(2021 年度) 処理数
食品衛生法に基づく各種届	1,044	880	1,700
府 条 例 に 基 づく 各 種 届	18	11	16
食 鳥 関 係 に 基 づく 各 種 届	0	0	0
証 明 願	17		
その他各種届(臨時出店届等)	213	5	5

(6) 苦情・相談処理状況

	令和元年度(2019 年度)			令和2年度(2020 年度)			令和3年度(2021 年度)		
	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計
処 理 件 数	124	2,681	2,805	65	724	789	39	1,403	1,442

(7) 衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

日 時	場 所	対 象 者	参 加 者	内 容 等
令和3年度(2021 年度)は新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず				

(8) 感染性事例に係る業務実績 13 件

調査年月日	件名	出勤人数
令和3年(2021 年)4月9日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	1 名
令和3年(2021 年)4月 20 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	2 名
令和3年(2021 年)4月 26 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	1 名
令和3年(2021 年)5月 10 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	2 名
令和3年(2021 年)5月 12 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	1 名
令和3年(2021 年)5月 12 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	2 名
令和3年(2021 年)5月 13 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	1 名
令和3年(2021 年)5月 20 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	2 名
令和3年(2021 年)6月 11 日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	2 名
令和3年(2021 年)8月 16 日	47 歳女性 腸管出血性大腸菌(O157)感染症	1 名
令和3年(2021 年)10 月1日	23 歳女性 腸管出血性大腸菌(O157)感染症	1 名
令和3年(2021 年)10 月12 日	28 歳女性 腸管出血性大腸菌(O157)感染症	1 名
令和3年(2021 年)12 月1日	保育園 感染性胃腸炎の集団発生	1 名

2 環境衛生

(根拠法令 公衆浴場法、旅館業法、興行場法、理容師法、美容師法、水道法、建築物衛生法等)

(1) 監視指導

ア 生活衛生関係営業施設

生活衛生関係営業施設(理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場及び公衆浴場)について、法令に基づき許可又は確認を行うとともに、衛生措置基準の遵守、施設の維持向上を図るため監視指導を行った。

イ 遊泳場

「大阪府遊泳場条例」に基づき、遊泳場における公衆衛生の確保と危険の防止を図るため、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

ウ 建築物衛生対策

建築物衛生法に基づき特定建築物に係る各種届出の受理を行うとともに、衛生管理基準の遵守、管理記録の整備等の指導を行った。

エ 住居衛生対策

快適な住環境を確保するため、住まいの相談に対して助言や情報提供を行った。

オ 民泊

住宅宿泊事業法に基づき、各種届出の受理、届出施設への助言指導を行った。

カ レジオネラ対策

公衆浴場法等の規制を受けない社会福祉施設等における浴場施設について、水質検査結果の報告を求め、必要に応じ助言指導を行った。

キ 家庭用品

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、ベビー服・下着等の衣料品等を購入し、規制基準に適合しているかどうかの検査を実施した。

ク 水道

水道法に基づき、専用水道における衛生管理についての指導を行った。また、誤接続が判明した専用水道施設について、速やかに立入検査を実施し安全を確認するとともに、施設において原因究明を行い、再発防止策を含めた事故報告書を提出するよう指導した。併せて、専用水道施設及び医療機関あてに文書にて注意喚起するとともに、市ホームページでも啓発を行った。

同じく水道法に基づき、簡易専用水道について、定期検査結果から不適もしくは概ね適の施設に対し改善指導を行った。また、小規模貯水槽水道についても、必要に応じ受水槽管理の指導を行った。

ケ 温泉

大阪府の依頼により、温泉の利用状況調査を行った。

コ その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、理容所、美容所等の生活衛生営業関係施設の営業者や特定建築物の所有者等に対して、換気や消毒等の感染防止対策について、市ホームページにて情報発信を行った。

(2) 監視指導状況

ア 監視件数

施 設 名		令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)	
		施設数	監視数	施設数	監視数	施設数	監視数
営業関係施設	旅 館	18	27	15	5	13	2
	興 行 場	4	5	5	1	4	1
	公 衆 浴 場	24	52	23	0	25	10
	理 容 所	171	60	174	16	179	8
	美 容 所	450	137	475	51	507	54
	ク リ ー ニ ン グ 所 ^{※2}	187	56	258	8	254	6
水 道 関 係	専 用 水 道	17	27	14	15	14	11
	特 設 水 道	1	2	1	1	1	1
	簡 易 専 用 水 道	733	11	735	0	732	1
	小規模貯水槽水道等	2,204	0	2,190	1	1,888	0
	井 戸 等	—	5	—	3	—	0
建築物衛生関係	特 定 建 築 物	135	122	135	1	136	4
遊 泳 場 関 係	通 年 プ ー ル	17	49	16	1	16	3
	夏 期 プ ー ル	3	7	3	2	3	2
住宅宿泊事業法	届 出 住 宅			9	0	9	5
その他の施設	化 製 場	3	0	3	0	3	0
	畜 舎 ・ 家 禽 舎	25	1	26	1	27	2
	温 泉 利 用 施 設	3	7	3	0	3	5
関 連 業 務 ^{※1}	住 居 衛 生 関 係	—	9	—	2	—	1
	ね ず み ・ 衛生害虫駆除指導	—	65	—	10	—	10
	感 染 症 対 策	—	65	—	1	—	0
計		3,995	707	4,085	119	3,814	126

※1 関連業務には指導数も含む。他は監視数。

※2 クリーニング所には無店舗取次店を含む。令和2年度(2020年度)の施設数の増加は、保健所設置に伴い、大阪府域を営業区域とする無店舗取次店を本市へ届出があったとみなしたため。

:住宅宿泊事業法については、大阪府吹田保健所において同種の業務を行っていないため、計上していない。

イ 違反処分の状況

該当なし

(3) 環境衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

			手数料(円)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
温 泉	利 用 許 可 申 請		35,000	2	0	0
	承 継 承 認 申 請		7,400	0	0	0
旅 館 業	許 可 申 請		22,000	1	1	0
	承 継 承 認 申 請		7,400	0	0	0
	事 業 譲 渡		16,300	—	0	0
公 衆 浴 場	許 可 申 請		22,000	0	0	2
	事 業 譲 渡		16,300	—	0	0
興 行 場	許可申請	常 設	18,200	1	0	2
		常 設 以 外	8,900	0	1	0
	事業譲渡	常 設	13,500	—	0	0
		常 設 以 外	8,700	—	0	0
ク リ ー ニ ン グ 所	新 規 開 設		16,000	6	8	3
	事 業 譲 渡		12,900	—	0	0
理 容 所	新 規 開 設		16,000	4	10	6
	事 業 譲 渡		12,900	—	0	0
美 容 所	新 規 開 設		16,000	46	49	38
	事 業 譲 渡		12,900	—	1	10
営 業 関 係 証 明 願			300	—	3	0
動 物 飼 養 場 許 可 申 請			8,200	1	1	1
計				62	74	62
令 和 3 年 度 (2 0 2 1 年 度) 収 入 済 額			969,600円			

ー: 旧大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
水 道 関 係	—	51	58
特 定 建 築 物 関 係	—	62	41
建 築 物 衛 生 管 理 業 関 係	—	13	8
温 泉 関 係	4	0	0
旅 館 関 係	7	11	5
興 行 場 関 係	0	0	1
公 衆 浴 場 関 係	4	6	1
理 容 関 係	41	19	5
美 容 関 係	99	63	46
ク リ ー ニ ン グ 関 係	64	12	20
動 物 飼 養 場 関 係	0	0	0
住 宅 宿 泊 事 業 関 係	—	0	0
計	219	237	185

—: 旧大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

ウ 大阪府からの事務委託等

区 分		令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
温 泉	許 可 ・ 承 継 承 認 申 請	—	1	1
	工事完了・地位承継・廃止届出	—	1	0
	可燃性天然ガス濃度確認申請	—	0	0
	可燃性天然ガス濃度確認届出	—	0	0
遊 泳 場	開 設 許 可 申 請	—	0	0
	変 更 ・ 承 継 ・ 供 用 開 始 ・ 再 開 ・ 休 止 ・ 廃 止 届 出 書	—	9	3
ク リ ー ニ ン グ 師	免 許 ・ 受 験 に 関 す る 受 理	—	2	1
建 築 物 衛 生 管 理 業 の 登 録 申 請		—	8	5
計		—	21	10

—: 旧大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

根拠: 温泉法関係事務交付金交付要綱

大阪府遊泳場条例事務交付金交付要綱

クリーニング師試験及び免許事務交付金要綱

建築物衛生管理事業登録事務交付金交付要綱

環境衛生事務委託契約

(4) 苦情・相談処理状況

種 別	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
営 業 関 係	5	31	48
飲 料 水 関 係	—	8	4
そ 族 昆 虫 駆 除 関 係	66	12	11
住 居 衛 生 関 係	6	0	1
住 宅 宿 泊 事 業 関 係	—	0	2
そ の 他	4	3	6
計	81	54	72

—: 旧大阪府吹田保健所において、同種の業務を行っていないため、計上していない。

(5) 衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

該当なし

(6) 現場検査実施状況(検査件数)

項 目	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
ダニ等昆虫の検鏡	15	1	1
残留塩素測定	80	19	22
住居内空気環境	0	0	1
合 計	95	20	24

(7) 講習会実施状況

該当なし

(8) その他特記すべき事項

なし

3 狂犬病予防・動物愛護管理

狂犬病予防法等関係法令に基づき、飼い犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等の事務を実施した。

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律等関係法令に基づき、犬の捕獲、負傷動物の収容、飼い犬・飼い猫等の引取り及び苦情相談対応等を行った。

猫のみだりな繁殖に起因する生活環境被害等を低減させること等を目的に、飼い猫及び野良猫の避妊・去勢手術を行う市民を対象に手術費用の一部を助成するための補助金事業を実施した。

(1) 狂犬病予防

項目 年度	飼犬 登録頭数	新規登録頭数 (うち委託数)	注射済票交付件数 (うち委託数)	死亡届出 数	転出届出 数	転入届出 数
令和元年度 (2019年度)	18,167	2,015 (473)	10,077 (6,802)	786	905	210
令和2年度 (2020年度)	18,379	1,227 (561)	8,921 (6,083)	758	526	274
令和3年度 (2021年度)	18,466	1,356 (609)	10,007 (7,031)	1,081	548	363

(2) 動物愛護管理(動物愛護管理業務の所管が始まった令和2年度(2020年度)以降の実績を掲載)

ア 犬に関する苦情相談件数

項目 年度	捕獲依頼	負傷	引取り		行方不明	譲渡	苦情				その他	計
			所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和2年度 (2020年度)	5	0	2	1	47		19	6	9	22	8	119
令和3年度 (2021年度)	8	0	10	1	45	4	28	7	11	19	30	163

※譲渡の相談件数は譲渡事業が始まった令和3年度以降の実績を掲載

イ 猫に関する苦情相談件数

項目 年度	捕獲依頼	負傷	引取り		行方不明	譲渡	苦情				その他	計
			所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和2年度 (2020年度)		25	12	28	148		100	0	7	0	29	349
令和3年度 (2021年度)		14	13	15	89	11	170	2	9	0	58	381

※譲渡の相談件数は譲渡事業が始まった令和3年度以降の実績を掲載

ウ その他動物に関する苦情相談件数

項目 年度	捕獲依頼	負傷	引取り		行方不明	譲渡	苦情				その他	計
			所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和2年度 (2020年度)		0	0	0	42		0	0	1	0	1	44
令和3年度 (2021年度)		1	0	0	64	2	2	0	1	0	12	82

※譲渡の相談件数は譲渡事業が始まった令和3年度(2021年度)以降の実績を掲載

エ 犬の収容処分件数

項目 年度	収容					処分			
	捕獲	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	計	返還	譲渡	殺処分	計
令和2年度 (2020年度)	1	2	1	0	4	2	2	0	4
令和3年度 (2021年度)	5	4	0	0	9	5	3	0	8

※収容数と処分数の合計は年度繰り越しがあるため一致しない

オ 猫の収容処分件数

項目 年度	収容					処分			
	捕獲	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	計	返還	譲渡	殺処分	計
令和2年度 (2020年度)		30	36	10	76	0	17	59	76
令和3年度 (2021年度)		6	6	12	24	0	10	14	24

※殺処分の項目は自然死を含む。

(3) 飼い猫等の避妊・去勢手術費補助金の交付

項目 年度	実績件数					
	予算額	支出額	野良猫 (5,000円)	飼い猫 (2,500円)	総数	取消・辞退
令和元年度 (2019年度)	1,000,000	972,500	156	77	233	44
令和2年度 (2020年度)	1,000,000	972,500	137	115	252	47
令和3年度 (2021年度)	1,000,000	660,000	69	126	195	25

地 域 保 健 課 事 務 概 要

地域保健課の業務は、結核、感染症、精神保健、難病、特定不妊治療医療費助成など多岐にわたり、地域住民の健康の保持・増進、疾病の予防に努めた。

1 結核予防(根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1) 健診及び相談業務

ア 接触者健康診断・予防接種及び結核対策特別促進事業実施状況

区 分	実施実人員		ツベルクリン反応		喀痰検査		QFT 検査		直接撮影		発見患者	潜在性結核感染症
	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託		
令和元年度 (2019 年度)	164	4	0	0	0	0	115	0	171	4	1	9
令和2年度 (2020 年度)	217	15	0	2	5	0	188	11	157	14	1	6
令和3年度 (2021 年度)	215	15	0	1	6	1	153	12	112	17	1	4
接 触 者 健 診	コッホ現象 陽転児	0							0		0	0
	患者家族	71	3	0	1	5	1	48	12	51	3	2
	患者接触者	144	12	0	0	1	0	105	0	61	14	2

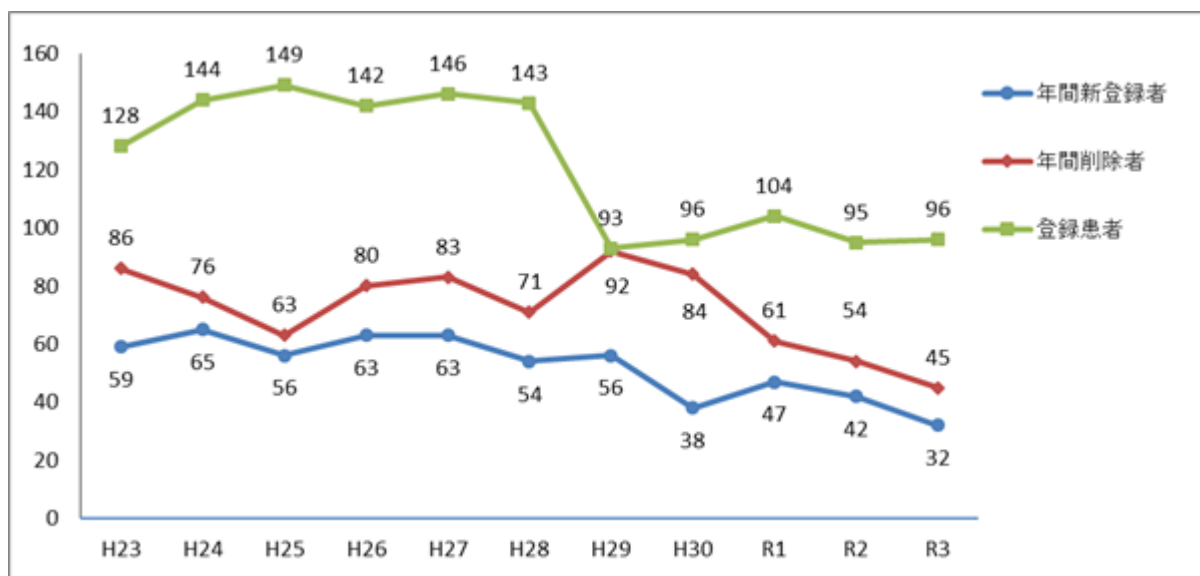
イ 管内結核定期健康診断・予防接種実施状況

項 目		令和 元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和3 年度(2021 年度)					
				事業 者	学 校 長	施 設 の 長	市 町 村 長		計
							乳 幼 児	そ の 他	
B C G 接 種 数		3,121	3,038	0	0	0	2,939	0	2,939
間 接 撮 影 者 数		6,486	4,625	2,804	999	257	0	0	4,060
直 接 撮 影 者 数		44,839	48,933	16,768	12,575	553	0	25,775	55,671
要 精 密 検 査		249	164	66	44	16	0	31	155
発 見 患 者	結核患者	2	2	0	0	0	0	0	0
	結核発症の恐れ があるもの(※)	0	2	0	0	0	0	0	0

(※) 定期的に医師の観察指導を必要とするもの

(2) 結核患者管理

ア 年間新登録患者数、登録削除者数及び登録患者数の推移(潜在性結核患者を除く)(人)



イ 登録患者の状況

(ア) 登録時総合患者分類コード別、年齢階級別新登録者数(令和3年(2021年)末)

区 分	活 動 性 結 核					計	潜在性 結核 感染症 (別 掲)	非結核性 抗酸菌 陽性 (別 掲)
	肺 結 核		活 動 性		肺 外 結 核 活 動 性			
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 その他の 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 ・その他				
	初 回 治 療	再治療						
0 ～ 4歳	0	0	0	0	0	0	2	0
5 ～ 9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14 歳	1	0	0	0	0	1	0	0
15 ～ 19 歳	2	0	0	0	0	2	0	0
20 ～ 29 歳	2	0	1	1	0	4	0	0
30 ～ 39 歳	0	0	0	0	1	1	0	0
40 ～ 49 歳	0	0	2	0	0	2	6	0
50 ～ 59 歳	0	0	1	0	0	1	0	0
60 ～ 69 歳	1	0	0	0	0	1	2	0
70 歳 ～	11	0	6	1	2	20	5	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	0	9	2	3	32	15	0

(イ)活動性分類別受療状況別登録者数（令和3年(2021年)末の状況）

区 分	活 動 性 結 核				肺 外 結 核 活 動 性	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	計	潜在性 結核 感染症 (別掲)	非結核 性抗酸 菌陽性 (別掲)
	肺 結 核 活 動 性									
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 その他の 菌 陽 性							
	初回治療	再 治 療								
入 院	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0
通 院	9	0	7	3	4	0	0	23	7	0
医療なし	1	0	1	0	1	57	5	65	13	0
不 明	0	0	0	0	0	0	3	0	5	0
計	15	0	8	3	5	57	8	93	25	0

(ウ)管理健診実施状況(令和3年度(2021年度))

対 象 数	勧 奨 数	受 診 者 数				勧奨に対する 受 診 率 (%)
		保 健 所	委 託 機 関	そ の 他	計	
163	163	70	21	57	148	90.7

(エ)医療費公費負担状況(結核のみ)

区 分		令 和 元 年 度 (2019 年度)		令 和 2 年 度 (2020 年度)		令 和 3 年 度 (2021 年度)	
		件 数	申 請 に 対 する 比 (%)	件 数	申 請 に 対 する 比 (%)	件 数	申 請 に 対 する 比 (%)
通院患者 (37 条 の 2)	申 請	88		60		60	
	合 格	88	100	60	100	※2 59	98.3
	公費負担承認	88		60		59	
入院勧告 (37 条)	申 請	49		78		59	
	合 格	49	100	78	100	59	100
感染症診査協議会開催回数 (下記 FAX 診査回数は含めない)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)	
F A X 診 査 (※ 1) 回 数		47 回		15 回		18 回	

※1法第20条に基づく入院延長の適否について、簡易な方法で協議会へ意見聴取を行うもの

※2 不合格の患者は、申請治療薬剤が適切ではなかったため。

現在、定期的な喀痰検査の実施を行い経過観察中。

(附 表) 吹田市感染症診査協議会 委員名簿

令和4年(2022年)3月31日現在

氏 名	役 職 名
阿部 欣也	会 長 市立豊中病院内科部長兼感染対策室長
橋本 重樹	副会長 市立池田病院 呼吸器内科主任部長
藤川 健弥	委員 (独法)兵庫中央病院 呼吸器内科医師
島 純子	委員 (一社)箕面市医師会 理事
宇治田 尚子	委員 元大阪府藤井寺保健所保健補佐
森田 理恵	委員 日本経済大学 商学部 准教授

(オ)結核患者への訪問指導等

	訪問指導		相談	
	件数(実)	件数(延)	電話(延)	来所(延)
令和元年度(2019年度)	-	445	599	217
令和2年度(2020年度)	54	337	447	62
令和3年度(2021年度)	75	309	363	38

(カ)他機関との連携会議(結核コホート検討会・DOTS 会議)

開催会議	内容	開催回数
結核患者治療成績 評価検討会 (コホート検討会)	結核患者の治療成績や支援経過を振り返り、DOTS の実施 方法及び患者支援の評価、地域の結核対策について検討 する会議。 外部評価者(大阪はびきの医療センター・市立吹田市民病院・大阪健 康安全基盤研究所)	2 回 (令和3年5月、11月) 新型コロナウイルス感染症の影響により2回中止
DOTS 会議	治療中の結核患者を対象に、地域での服薬支援について 検討する保健所と医療機関との連携会議	8 回

※DOTS:結核医療における直接服薬確認療法

(キ)感染症に関する研修会等

事業名	開催日時	講演テーマ	参加者
結核対策医療機関講習会 (一社)吹田市医師会共催事業	令和4年 (2022年) 1月26日	「結核とCOVID-19 診断・治療・予防について」 講師:大阪大学大学院医学系研究科・医学部 感染制 御学講座 忽那 賢志 教授	106 人

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン形式で開催

2 感染症予防(根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1)一類感染症～五類感染症患者の発生状況

疾 病 名		医師からの届出受理件数		
		令和元年度 (2019 年度)	令和2 年度 (2020 年度)	令和3 年度 (2021 年度)
一類感染症		0	0	0
二類感染症	結核	74	52	65
三類感染症	細菌性赤痢	1	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	7	8	4
	腸チフス	1	0	0
四類感染症	A 型肝炎	2	0	0
	デング熱	2	0	0
	日本紅斑熱	1	1	0
	ボツリヌス症	0	1	0
	レジオネラ症	8	1	5
五類感染症	アメーバ赤痢	4	4	5
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	17	11	20
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1	3
	後天性免疫不全症候群	2	1	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	20	3	7
	梅毒	52	31	32
	バンコマイシン耐性腸内細菌感染症	2	1	1
	百日咳	26	0	0
	風しん	3	0	0
	麻疹	6	0	0
	その他	4	2	1
合計		241	117	150

※新型コロナウイルス感染症の届出数は除く。発生届は最寄りの保健所へ提出となっているため受理件数は他市民を含む。

(2) 入院勧告及び措置等の状況(令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日)

(新型コロナウイルス感染症は除く)

入院勧告件数		入院措置件数		就業制限通知件数
応急入院	本入院	応急入院	本入院	
21	21	0	0	29

(3) 患者同行者・接触者等への疫学調査・相談指導状況

疾 病 名		接触者等 人 数	健康診断 勧告件数	健康診断 措置件数	検体 採取数	陽 性 数	相談指導 (延回数)
一類感染症		0	0	0	0	0	0
二類感染症(結核は除く)		0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	7	7	7	7	0	24
四類感染症		0	0	0	0	0	0
五類感染症		0	0	0	0	0	0

(4) その他感染症対応(訪問、相談件数)

相 談 件 数	
訪問(延べ)	電話(延べ)
30	174

3 性感染症予防(根拠法令:感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1) 血液検査実施状況 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、5か月間、血液検査を中止。

ア HIV・AIDS相談及びHIV抗原抗体検査

区 分	相 談 件 数		血 液 検 査 数
	電 話	来 所	
令和元年度(2019年度)	172	9	217
令和2年度(2020年度)	19	1	43
令和3年度(2021年度)	12	0	56

イ クラミジア同定DNA抗体検査

区 分	血液検査数	陽性者数	陽 性 率 (%)
令和元年度(2019年度)	197	9	4.6
令和2年度(2020年度)	43	4	9.3
令和3年度(2021年度)	56	3	5.3

ウ 梅毒血清反応検査

対 象	令和元年度(2019 年度)			令和2 年度(2020 年度)			令和3 年度(2021 年度)		
	血 液 検 査 数	陽 性 者 数	陽 性 率 (%)	血 液 検 査 数	陽 性 者 数	陽 性 率 (%)	血 液 検 査 数	陽 性 者 数	陽 性 率 (%)
計	211	4	1.9	43	1	2.3	56	0	0

4 生活習慣病予防（根拠法令:地域保健法）

(1) 肝炎・肝がん対策

ア 肝炎インターフェロン・インターフェロンフリー治療医療費助成件数

令和元年度 (2019 年度) 合計	令和2 年度 (2020 年度) 合計	令和3 年度(2021 年度)					
		新規 申請	2回目 申 請	変更 申請	転入 申請	2か月 延長申請	6か月 延長申請
51	29	26	0	1	0	0	0
		受給者証 の返却	返戻書類 の返却	再交付 願い、	取下げ 願い、	その他	
		0	0	0	0	0	

イ 肝炎核酸アナログ製剤治療医療費助成件数

令和元年度 (2019 年度) 合計	令和2 年度 (2020 年度) 合計	令和3 年度(2021 年度)								
		新規 申請	更新 申請	変更 申請	転 入 申 請	受給者証 の返却	返戻書類 の再送付	再交付 願い、	取下げ 願い、	その他
244	123	30	232	6	4	0	0	2	0	0

5 母子保健(根拠法令:母子保健法、児童福祉法)

(1) 医療給付申請事務取扱状況

区 分	令和元年度(2019 年度)			令和2 年度(2020 年度)			令和3 年度(2021 年度)		
	申請数	承認数	不 承 認 数	申請数	承認数	不 承 認 数	申請数	承認数	不 承 認 数
結 核 児 童 療 育	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不妊に悩む方への特定治療 支 援 事 業	572	572	0	743	743	0	1,163	1,163	0

(2) 不妊治療専門相談(ひまわり相談)

実	施	回	数	4 回
相	談	人	数	14 人
内	訳	医 師 へ の 相 談		7 件
		助 産 師 へ の 相 談		7 件

6 精神保健

(1)措置診察

ア 精神保健指定医による措置診察状況

区 分	令和元年度(2019 年度)		令和 2 年度(2020 年度)		令和 3 年度(2021 年度)	
	申請又は通 報 件 数	措置入院と なった数	申請又は通 報 件 数	措置入院と なった数	申請又は通 報 件 数	措置入院と なった数
保 護 者 の 申 請 に よ る も の	0	0	0	0	0	0
警 察 官 の 通 報 に よ る も の	7	2	6	6	3	3
精神科病院の管理者の届出によるもの	0	0	0	0	0	0
医療観察法の規定による指定通院 医療機関の管理者及び保護観察所 の長からの通報によるもの	0	0	0	0	0	0

イ 措置入院者等退院後支援事業

事 業	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	備 考
措置入院者等退院後支援事業件数	5	1	措置入院者等に対して、本人の同意に基づいて入院 中から支援を実施

(2)実地指導

事 業	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	備 考
精神科病院実地指導件数	2	2	大阪大学医学部附属病院、榎坂病院

(3) 精神保健相談、訪問指導及び集団指導

ア 精神保健相談、訪問指導

区 分	令和元 年度 (2019 年度) 相談件数	令和2 年度 (2020 年度) 相談件数	令和3 年度 (2021 年度)				
			相談件数	職種(重複あり)			
				精神保健 福祉相談員	医師	臨床心理	保健師
相 談 実 人 員	487	481	497				
相 談 延 件 数 ①	3,095	3,170	3,153	2,412	144	56	793
(別掲) 電話・ メール相談 ※ ②		541	852				
訪 問 実 人 員	170	141	104				
訪 問 延 件 数 ③	540	391	215	178	36	0	71
支 援 延 件 数 ① + ② + ③		4,102	4,220				

※「匿名での電話相談」等、継続支援には至らなかった電話やメール相談、他機関からの相談件数(令和2 年度分より計上)。

イ 集団指導

対 象	実施回数	参加数	備 考
精神保健福祉家族教室	1	8 人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため規模を縮小して実施
精神保健福祉関係機関職員研修	1	24 機関	「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の第2部として実施
アルコール教室	1	105 人	大和大学学生を対象に実施

ウ 各種会議

対 象	回数等	備 考
吹田市精神障がいにも対応した 地域包括ケアシステム	事務局会議 6 回 ワーキング会議 3 回 本会議 2 回	障がい福祉室と共催
豊能精神医療懇話会	1 回	豊中市保健所、池田保健所と共催

エ その他の精神保健活動

区 分	内 容（主題、実施方法）
普 及 啓 発 （ 共 催 事 業 含 む ）	・アルコール関連問題啓発週間における市役所ロビーパネル展示（吹田市断酒会と共催） ・断酒を考える会の開催（吹田市断酒会と共催） ・市報すいたや保健所ホームページ、吹田市公式 Twitter 等のSNSを活用した情報発信 ・市内各大学のイントラネットを活用した情報発信
地域関係機関との連携	・心神喪失者等医療観察法ケア会議 ・精神保健福祉関連業務説明会 ・北ブロック保健所精神保健業務検討会議 ・吹田市生活困窮者自立支援連絡調整会議 ・吹田市子ども・若者支援連絡協議会 ・吹田市DVネットワーク会議 ・多重債務問題庁内会議
他団体への援助、助言	家族会、断酒会、事業所等への支援等
関連事務	・医療保護入院に係る市長同意関連事務 ・精神科病院における各種入退院届進達事務 ・自動車税に係る生計同一証明発行事務

(4) 自殺対策事業

ア 関係会議・啓発等

事業名	回数等	構成員等
吹田市自殺対策推進庁内会議	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和4年5月に延期	〈構成員〉庁内 13 部 局 の部長
吹田市自殺対策推進庁内会議 実務担当者会議	2 回 (うち、1 回は書面開催)	〈構成員〉庁内 14 室課の実務担当者及び吹田市社会福祉協議会
吹田市自殺対策推進懇談会	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和4年4月に延期	〈構成員〉あかり法律事務所、吹田市医師会、吹田市薬剤師会、吹田市社会福祉協議会、吹田市民生・児童委員協議会、大阪府こころの健康総合センター、公募市民

関係機関連絡会議等	① 1回 ② 1回 ③ 10回	〈構成員〉①警察、消防、医療機関、 保健所 (4 機関) ②精神保健福祉に関わる関係機関(24 機関) ③吹田市内 5 大学、公立 5 高校を個別に訪問し、自殺対策に関する意見交換会を実施
自殺未遂者相談支援事業 事例検討会議	3回	〈講師〉なかむかみクリニック河原医師 〈参加者〉地域保健課職員
地域自殺対策人材育成研修	1回	〈参加者〉吹田市内小中学教員等 57 名 〈講師〉なかむかみクリニック河原医師
メンタルヘルス市民講演会	1回 (YouTube 配信)	〈講師〉医療法人悠仁会稲田クリニック 稲田 医師 〈視聴回数〉58 回
ゲートキーパー養成研修	7回 (各回の対象者、人数は 右記の通り)	①大和大学学生 109 名 ②庁内関係室課等 19 名 ③青少年室職員等 14 名 ④小中学校教員等 57 名 ⑤民生・児童委員 30 名 ⑥⑦庁内関係室課及び社会福祉協議会職員 29 名
市役所ロビーパネル展示	令和 3 年 9 月 6 日から 10 日 令和 4 年 3 月 1 日から 7 日	〈内容〉啓発パネルの展示及びリーフレット配 架等
啓発リーフレット作成		〈タイトル〉①「こころの健康相談」 ②「思春期のあなたへ こころのお天気はどう ですか？」

イ 自殺未遂者支援事業等実施状況

区 分	令和元年度 (2019 年度) 相 談 延 件 数	令和 2 年度 (2020 年度) 相 談 延 件 数	令和 3 年度 (2021 年度) 相 談 延 件 数
自殺未遂者相談支援事業	234	213	398

7 難病対策（根拠法令 難病の患者に対する医療等に関する法律）

(1) 在宅難病患者個別支援状況

ア 指定難病に係る医療給付申請受付及び個別支援実施状況

年度		申請受付状況		個別援助実施状況				
		新規受付	更新受付	面接件数	訪問件数	電話件数	他機関連絡件数	ケース会議件数
令和元（2019）計		474	2,598	346	582	822		
令和2（2020）計		456	0	442	400	805	1,413	32
令和3（2021）計		534	2,866	576	304	1,049	1,282	38
疾患群	神経・筋疾患	169	830	211	272	838	1,131	35
	血液系疾患	20	100	22	0	4	0	0
	免疫系疾患	91	569	82	4	39	29	0
	内分泌系疾患	8	77	10	1	7	4	0
	代謝系疾患	5	38	9	9	28	35	1
	循環器系疾患	11	92	12	7	16	28	2
	呼吸器系疾患	26	105	31	1	21	5	0
	消化器系疾患	102	686	99	3	23	8	0
	皮膚・結合組織疾患	23	56	30	3	20	14	0
	骨・関節系疾患	25	109	23	2	19	17	0
	腎・泌尿器系疾患	45	126	38	2	28	10	0
	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	1	4	0	0	1	0	0
	視覚・聴覚平行機能・耳鼻科系疾患	8	74	9	0	5	1	0

イ 特定疾患に係る医療給付申請受付及び個別支援実施状況

疾患	新規受付	更新受付	相談件数	訪問件数
スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎 急性重症膵炎、プリオン病※	0	0	0	1

※ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）が対象

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 専門相談実施状況

職 種	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)
	訪問延件数	訪問延件数	訪問延件数
理 学 療 法 士	0	0	1
作 業 療 法 士	3	3	2
言 語 聴 覚 士	5	5	2
そ の 他	0	0	0
合 計	8	8	5

イ 医療講演会

対 象 疾 患	開催回数	視聴延人員	備 考 (内 容 等)
特発性血小板減少性紫斑病	1	160	専門医による疾患と療養生活についての講義
全身性エリテマトーデス	1	61	専門医による疾患と療養生活についての講義

※新型コロナウイルス感染症の流行により、WEB による講演会を実施。

ウ 関係機関向け講演会

対 象 疾 患	開催回数	視聴延人員	備 考 (内 容 等)
パーキンソン病	1	234	専門医による疾患と支援についての講義

※新型コロナウイルス感染症の流行により、WEB による講演会を実施。

(3) 在宅療養支援関係者会議等開催状況

会 議 名	開 催 回 数	参 加 延人員	備 考 (内 容 等)
大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議	1	51	難病患者が地域で安心安全かつ充実した生活を送ることを支援するためのネットワーク会議
北ブロック保健所難病担当学会議	1	17	
難病支援に関する連携会議	1	15	

8 放射線業務

(1) 保健所におけるエックス線撮影

接触者健康診断は、感染症法第 17 条及び本府の結核健診方針の趣旨をふまえ所内及び所外で胸部エックス線撮影を行っている。

ア 所内のエックス線撮影件数

区分	所内						
	開催 回数	撮影件数					
		管理	家族	接触者等	集団発生 (再掲)	施設利用等 その他	合計
令和元年度 (2019 年度)	45	85	56	115	(0)	0	256
令和 2 年度 (2020 年度)	43	74	45	112	(0)	0	231
令和 3 年度 (2021 年度)	47	64	49	54	(0)	0	167
定 例	36	57	45	37	(0)	0	139
定例外	11	7	4	17	(0)	0	28

イ 所外のエックス線撮影件数

区分	所外（検診車による委託検診）						
	開催 回数	撮影件数					
		管理	家族	接触者等	集団発生 (再掲)	その他	合計
令和元年度 (2019 年度)	0	0	0	0	(0)	0	0
令和 2 年度 (2020 年度)	0	0	0	0	(0)	0	0
令和 3 年度 (2021 年度)	1	0	0	24	(0)	0	0
定 例	0	0	0	0	(0)	0	0
定例外	1	0	0	24	(0)	0	0

(2) 医療放射線管理業務

医療法第25条第1項及び立入検査要綱に基づき病院等の立入検査を実施し、適切な医療放射線管理の確保に努めた。

ア 立入検査（医療監視）

区 分	病 院	透析 診療所	療養病床 診療所	有床 診療所	他診療所	歯科 診療所
令和元年度（2019年度）	15	0	0	1	0	0
令和2年度（2020年度）	0	1	0	0	0	0
令和3年度（2021年度）	11	0	0	0	0	0
定例立入検査	11	0	0	0	0	0
定例外（臨時）立入検査	0	0	0	0	0	0

イ 医療法に基づく許可・届出収受

区 分	X線装置	治療装置	密封線源治療	同位元素	治験薬等
令和元年度（2019年度）	94	5	0	11	0
令和2年度（2020年度）	128	2	0	9	0
令和3年度（2021年度）	104	0	1	8	0
放射線診療装置の許可申請	13	0	1	0	0
放射線診療装置の届出	91	0	1	8	0

ウ 放射線関連相談業務

区 分	被ばく相談	施設（設備）相談	その他
令和元年度（2019年度）	6	11	0
令和2年度（2020年度）	4	28	0
令和3年度（2021年度）	5	17	0

健康まちづくり室事務概要

(健康まちづくり室は保健所組織ではないが、健康まちづくり室が実施している吹田市健康増進法施行細則にかかる業務のうち、保健所長の権限に属する業務のみを記載)

1 栄養改善指導(根拠法令 健康増進法・食育基本法)

(1) 住民栄養指導

個別指導

対象区分	令和 元年度 (2019 年度)	令和 2年度 (2020 年度)	令和3年度(2021 年度)				
			母 子		学 童 思 春 期	成 人 老 人	計
			乳幼児	妊産婦			
一 般	1	2	0	0	0	0	0
循環器疾患及び悪性新生物	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 の 疾 患	1	0	0	0	0	0	0
難 病	5	0	0	0	0	0	0
計	7	2	0	0	0	0	0

(再掲含む)

(2) 特定給食施設等指導

ア 個別指導

		令和元年度 (2019 年度) 指導数	令和2年度 (2020 年度) 指導数	令和3年度(2021 年度)					
				栄養士のいる 施設		栄養士のいない 施設		合 計	
				施設数	指導数	施設数	指導数	施設数	指導数
特定給食施設	学 校	23	1	29	0	33	0	62	0
	病 院	26	1	13	0	0	0	13	0
	介護老人保健施設	6	0	7	0	0	0	7	0
	介護医療院	—	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	11	1	14	0	0	0	14	0
	児童福祉施設	19	0	33	0	13	0	46	0
	社会福祉施設	6	0	1	0	0	0	1	0
	事業所	49	0	4	0	12	0	16	0
	寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	0	0	1	0	0	0	1	0
	そ の 他	3	0	1	0	0	0	1	0
	計	143	3	103	0	58	0	161	0
その他の給食施設	学 校	2	0	0	0	15	0	15	0
	病 院	2	0	1	0	0	0	1	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	—	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	4	0	7	0	1	0	8	0
	児童福祉施設	3	1	8	0	4	0	12	0

社会福祉施設	1	0	7	0	2	0	9	0
事業所	5	0	1	0	6	0	7	0
寄宿舎	1	0	0	0	7	0	7	0
矯正施設	0	0	0	0	0	0	0	0
自衛隊	0	0	0	0	0	0	0	0
一般給食センター	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	5	0	2	0	7	0
計	18	1	29	0	37	0	66	0
小規模給食施設	1	0	5	0	0	0	5	0
合計	162	4	137	0	95	0	232	0

イ 管理栄養士必置特定給食施設数

	学校	病院	児童福祉施設	寄宿舎	事業所	一般給食センター	その他	合 計
厚生労働大臣の指定基準該当施設数	5	8	0	0	0	1	0	14

ウ 集団指導

名 称	主 な 内 容	回 数	施設数	延人数
講習会	新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。			
合 計				

エ 給食研究会の指導

名 称	主 な 内 容	回 数	施設数	延人数
吹田市給食研究会	総会(書面開催)	0	73	73
	全体会	0	0	0
	役員会(3 役会のみ実施)	1	5	6
	施設種別学習会(他研究会開催分に参加)	0	0	0
	北ブロック代表者会議	0	0	0
合 計		1	78	79

(3)食品表示(栄養関係)等の指導

区 分		令和元年度(2019 年度)	令和2年度(2020 年度)	令和 3 年度(2021 年度)
業 者 へ の 指 導		0 回	23 回	18 回
府民への啓発普及	個人	0 人	0 人	0 人
	集団	—	—	—
健康食品関係への 合同監視指導	製造所	2 社	0 社	0 社
	販売店	1 店舗	0 店舗	0 店舗

SuitaCity

すわない

いらない

たばこの煙

Smoke Free



吹田市はスモークフリーシティを
めざしています

スモークフリー＝たばこの煙のない状態のこと

喫煙者本人の健康を守ることをはじめ、みんなが健康で安心して暮らせるまちづくりのために、吹田市は市民・事業者のみなさまと共にスモークフリーシティの実現をめざします。

スモークフリー推進の3つの柱

①機運醸成

市民、事業者の
皆さまとともに
スモークフリーの取組を
盛り上げます！

②禁煙支援の充実

禁煙に興味のある人に
様々な機会を活用し
情報提供を行い、
助成制度で応援します！

③子供への教育

「今」も「将来」も、
子供にたばこを吸わせ
ないように、正しい知識を
伝えます！